

外国語学部

外国語学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー ▶

外国語学部について ▶

英語学科 ▶

- 📄 英語学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

ドイツ語学科 ▶

- 📄 ドイツ語学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

フランス語学科 ▶

- 📄 フランス語学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

イスパニア語学科 ▶

- 📄 イスパニア語学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

ロシア語学科 ▶

- 📄 ロシア語学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

ポルトガル語学科 ▶

- 📄 ポルトガル語学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

北米研究コース ▶

- 📄 1. 開講科目の分類
- 📄 2. 履修上の注意
- 📄 3. 開講科目担当表

ヨーロッパ研究コース ▶

- 📄 1. 開講科目の分類
- 📄 2. 履修上の注意
- 📄 3. 開講科目担当表

ラテンアメリカ研究コース ▶

- 📄 1. 開講科目の分類
- 📄 2. 履修上の注意
- 📄 3. 開講科目担当表

ロシア・ユーラシア研究コース ▶

- 📄 1. 開講科目の分類
- 📄 2. 履修上の注意
- 📄 3. 開講科目担当表

言語研究コース ▶

- 📄 1. 開講科目の分類
- 📄 2. 履修上の注意
- 📄 3. 日本語教授法履修証明について
- 📄 4. 開講科目担当表

アジア研究コース ▶

- 📄 1. 開講科目の分類

中東・アフリカ研究コース ▶

国際政治論研究コース ▶

- 📄 1. 開講科目の分類

📄 2. 履修上の注意

📄 3. 開講科目担当表

📄 1. 開講科目の分類

📄 2. 履修上の注意

📄 3. 開講科目担当表

📄 2. 履修上の注意

📄 3. 開講科目担当表

市民社会・国際協力論研究コース ▶

📄 1. 開講科目の分類

📄 2. 履修上の注意

📄 3. 開講科目担当表

外国語学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー

〔教育研究上の目的〕

外国語の高度な運用能力を養い、それをもとに、9つの研究コースにおいて、各専攻語が使用されている地域に関する地域研究、また言語研究、国際政治論研究、市民社会・国際協力論研究を行うこと

〔人材養成の目的〕

各専攻語の運用能力、専門研究を通じて獲得した知識と複眼的な視点を基盤として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、また言語研究、国際政治論研究、市民社会・国際協力論研究の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与する。

1. 人間に固有に備わる言語について多面的に考察する力
2. 日本語を含む諸言語の普遍性と多様性を理解し、さまざまな言語事象について探求していく力
3. 社会、文化、教育など人間の生活における言語の幅広い役割を認識し、獲得した知識を積極的に活用できる力
4. 特定の国・社会・地域を、歴史・政治・経済・社会・文化など分野横断的に研究する力
5. 特定の国・社会・地域の事象や問題に関心を持ち、専門的知識を駆使して深く分析する力
6. 日本を含む複数の国・社会・地域を比較することで、それぞれについて相対的に考察する力
7. 国際政治および市民社会・国際協力に関心を持ち、専門的知識を駆使して深く分析する力
8. 日本語、英語を含む複数の言語で書かれた資料を読み、議論する力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、いずれも学生の能動的・積極的な参加を前提とする第一主専攻科目および研究コース科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・専攻語科目】1・2年次においては専攻外国語の基本的な運用能力を体系的・実践的に修得させる。それを土台に、3・4年次においては、より実践的、かつ専門研究に取り組む上で十分な運用能力を身につけさせる。オールラウンドな語学の基礎力が身につくように、口頭・筆記による練習を中心に授業を進める。
2. 【第一主専攻・語圏基礎科目】主に1・2年次において、専攻語が使用される地域における歴史・政治・経済・社会・文化・言語に関わる基礎的な知識を修得させる。講義形式を中心に、必要に応じ、グループワークやプレゼンテーションを織り交ぜながら授業を進める。
3. 【研究コース・導入科目】2年次秋学期に学生は各自の興味関心や志向にしたがい研究コースを選択するが、その準備段階として1・2年次生において、研究に必要な基礎的知識と方法論を修得させる。講義形式を中心に、必要に応じ、グループワークやプレゼンテーションを織り交ぜながら授業を進める。
4. 【研究コース・コア科目】主に2年次以降、研究コースでの学びの中核として、それぞれの専門分野について知識と問題意識を深め、多角的に学ぶ。講義系科目では、必要に応じ、グループワークやプレゼンテーションを織り交ぜながら授業を進める。語学系科目では、高度な言語運用能力を身につけさせるための練習も取り入れる。
5. 【研究コース・演習科目、卒業論文】3・4年次においては、それぞれの専門分野について自ら研究課題を設定し掘り下げることで、主体的な研究能力を養う。さらに、卒業論文・卒業研究を作成することにより、構想力・論理的思考力・表現力を身につけることができる。論文の書き方を修得させるとともに、プレゼンテーションとディスカッションを中心に授業を進める。

外国語学部について

1.外国語学部の構成

外国語学部は英語学科・ドイツ語学科・フランス語学科・イスパニア語学科・ロシア語学科・ポルトガル語学科の6学科から構成される。学生はいずれかの学科に所属し、「第一主専攻」として各学科の専攻語の実践的な運用能力の修得をめざすとともに、その専攻語が使用される地域（語圏）について基本的なことがらを学ぶ。

2.外国語学部の卒業要件

外国語学部の学生は、4年の修業年限を満たし、所属学科が定める「卒業に要する科目」〈全学共通科目〉〈語学科目〉〈学科学目〉を修得し、必要な単位数の最低基準を満たすと、学位「学士（外国研究）」が授与され、外国語学部を卒業することができる。

❗ 詳細は所属学科の「卒業に要する科目、単位数の最低基準」「標準配当表」「履修上の注意」を熟読すること。

3.学科科目の構成

1. 第一主専攻（専攻語、語圏）科目
2. 第二主専攻（または副専攻）科目
3. その他科目

注意

- ❗ (1)科目によっては、履修に際して様々な条件（外国語運用能力や履修前提科目、受講者数など）を定めている場合がある。演習科目の中には、担当教員が試験やレポート、面接、成績などで選抜を行い、受講者数を制限する場合がある。所属学科、履修する研究コースの「履修上の注意」や開講科目担当表はもちろん、履修科目のシラバス（講義概要）を熟読し、自らの研究計画に沿って早期から履修の見通しを立てていくことが求められる。
- (2)授業タイトルが英語で表記されている科目は、原則としてすべて英語で行われる。日本語タイトルの科目であっても、外国語で進められる授業もある。詳細はすべてシラバス（講義概要）を参照すること。

4.研究コース制度について

📄 制度の趣旨

外国語学部の学生は、以下に掲げる9つの〈研究コース〉の中から自らの興味・関心に沿って任意のものを1つ選択し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。

北米研究コース／ヨーロッパ研究コース／ラテンアメリカ研究コース／ロシア・ユーラシア研究コース／言語研究コース／アジア研究コース／中東・アフリカ研究コース／国際政治論研究コース／市民社会・国際協力論研究コース

「研究コース」は、それを「第二主専攻」または「副専攻」として履修する。体系的なカリキュラムに沿って、基礎から発展的な内容へと知識を吸収し、自らの問題関心に基づく研究を通して、世界諸地域の多様性、固有性を踏まえた地球的な視野を獲得することをめざす場合は、「第二主専攻」として履修する。多様な関心に基づく履修計画に合わせ、「副専攻」として履修することもできる。

📄 研究コースおよび専攻の登録

「研究コース」および「第二主専攻／副専攻」の選択は、原則として2年次秋学期にMy Sophiaでの届出をもって行う。具体的な日程等は、My Sophia学科・専攻別掲示板に掲載される手続要領を確認のうえ、期日までに手続きを行うこと。卒業までの学びの根幹に関わるので、慎重に考えたうえで選択を行うこと。なお、手続きを怠った場合は、卒業に差し障ることがあるので、十分に注意すること。

☐ 「第二主専攻」から「副専攻」への変更について

研究コースを「第二主専攻」として登録し、「副専攻」への登録変更を希望する者は、正当な理由がある場合、変更を許可される。所属学科長（および履修中の演習科目の指導教員）と面談のうえ、下記期日までに「専攻変更願」を指定された方法で提出すること。提出期間中に「専攻変更願」を提出した場合に限り、次学期の履修登録時には「副専攻」としてLoyolaの自己判定画面が表示される。なお、この変更後、再び「副専攻」から「第二主専攻」に変更することは認められないので、慎重に判断すること。

❗ 届出要領等はMy Sophia学科・専攻別掲示板にて通知する。

対象者	「専攻変更願」提出期間	備考
4年次生	2025年7月4日～9月5日	2025年9月卒業予定者は、左記期間に「専攻変更願」を提出することはできない。
3年次生 および4年次生（在学継続者のみ）	2026年1月5日～3月2日	4年次生については、在学継続者に限る。

☐ 【特別措置】

卒業論文・卒業研究の履修登録をした者で、特別な事情があり、卒業論文・卒業研究の作成を4年次の最終学期途中で中止せざるを得ない場合に限り、春学期は2025年6月6日、秋学期は2025年11月21日までに学科へ願い出ることにより、副専攻への登録変更が特別に許可されることがある。

☐ 「副専攻」から「第二主専攻」への変更について

「副専攻」から「第二主専攻」への変更は原則として認められない。ただし、具体的な計画性と研究に対する強い意欲が認められた場合は、例外的に許可されることがある。変更を希望する者は、履修中または履修予定の演習科目の指導教員および所属学科長と面談すること。

なお、この変更後、再び「第二主専攻」から「副専攻」に変更することは認められないので、慎重に判断すること。

☐ 研究コースの変更について

研究コースの変更は原則として認められない。ただし、研究コースを「第二主専攻」として登録している者は、演習科目の指導教員が研究コースの変更をやむを得ないと判断し、かつ、変更後の指導教員の受入承諾が確認されている場合に限り、許可されることがある。

また、必ず学科長と面談すること。

なお、研究コースの変更が認められた場合、「第二主専攻」から「副専攻」に変更することは認められないので、慎重に判断すること。

☐ 研究コース決定に伴う科目区分修正期間について

科目の区分は履修登録時に指定を行い、それ以降は区分変更はできない。しかし、外国語学部23年次生は、所属研究コース決定に伴う履修計画の見直し、調整を行う場合があるため、以下のとおり区分修正期間を設ける。所属コースに沿った履修計画となっているか再確認のうえ、必要があれば以下期間中に区分の修正を行うこと。**この後の変更は一切できない。**

- 対象者：外国語学部23年次生 ※留学中・休学中の学生も含む
- 区分の修正期間：2025年6月1日9：00～2025年6月30日21：00
- 対象科目：過去に履修済の科目および現在履修中の科目のうち、区分の選択が可能な全科目。ただし、以下の「区分変更不可の科目」を除く
- 実施方法：Loyolaにて各自実施
 - ① LoyolaのMenu－『成績』－『自己判定』をクリック

- ・ ②『判定学年』は4年を選択し『判定』ボタンをクリック
- ・ ③自己判定／結果画面の左上の『区分変更』ボタンをクリック
- ・ ④必要な科目について区分を修正し、『変更』ボタンをクリック

【区分変更不可の科目】

- ① 自己判定登録し、必修の区分で履修している語学科目（英語学科）
- ・ 「単位付与確認書」によって区分を決定している科目（海外短期語学講座や実践型プログラムなど）

5.外国語学部開講科目における科目記号について

外国語学部で開講される科目で使用している記号は、原則として以下の定義による。

- ・ ローマ数字のI、II... 各学科の必修語学科目で使用する。Iを履修できなければIIを履修できない。
- ・ アラビア（算用）数字の1と2... 春学期を1、秋学期を2として使用する。
- ・ アルファベットの大文字A、B... 科目の内容区分：同じ名称の科目だが講義内容が異なる科目。
- ・ アルファベットの小文字a、b... 科目のクラス区分：同じ科目のなかでのクラス分け。
- ・ （他）他学部・他学科等で開講される科目。時間割は開講元の学部・学科を参照すること。
- ・ （隔）隔年で開講される科目。
- ・ （重）重複履修が可能な科目（2回以上履修可能で、いずれも卒業に必要な単位として認められる）。

6.留学、編入学に伴う科目および単位認定について

留学した学生は帰国後、また編入した学生は編入後すみやかに学事センターの所定用紙にて申請のうえ、単位認定を受けなければならない。第二主専攻または副専攻科目として充当することを希望する場合は、学科指導と研究コース主任の指導を受けたいうえで、外国語学部長、所属学科長の認定を受けなければならない。

7.卒業論文・卒業研究について

1. 卒業論文と卒業研究の履修要件

研究コースを第二主専攻として履修する場合に限り、「卒業論文・卒業研究」を履修できる。副専攻としては履修できないので注意すること。

2. 卒業論文と卒業研究の違い

2.1. 卒業研究

論文形式の研究成果で、表紙、目次、本文、文献目録から成っていなければならない。指導教員は、原則として、履修する研究コースの演習担当教員とする。

2.2. 卒業論文

論文形式以外の研究成果で、形式においては卒業論文と異なるが、内容と完成に要する知的努力において卒業論文と同等とみなせるものでなければならない。指導教員は、原則として、履修する研究コースの演習担当とする。卒業研究のテーマになり得るかどうかについては、指導教員と相談すること。卒業研究の提出物は、研究成果物とその成果物に対する解説・解題資料等を文書化したもの（8,000字程度）から成る。

3. 履修登録と評価

- 3.1. 卒業予定年次の提出学期に、「卒業論文・卒業研究」（6単位）をLoyolaにて履修登録する。したがって、3年次生の登録は認められない。
- 3.2. また、『2025年度外国語学部「卒業論文・卒業研究」履修登録報告シート』を指定期日までに指定された方法で提出する。『「卒業論文・卒業研究」履修登録報告シート』の詳細については、My Sophia学科・専攻別掲示板へ掲出するので、必ず確認すること。
- 3.3. 「卒業論文・卒業研究」の評価については、原則として指導教員が主査となって審査を行う。なお、主査の判断により副査を置くことができる。

4. 卒業論文執筆要領・卒業研究実施要領

履修する研究コースの履修上の注意を熟読し、かつ主査となる教員の指導を受けること。詳細については、My Sophia学科・専攻別掲示板にて通知する。

5. 提出

卒業論文・卒業研究の提出期間は下記のとおりである。

- ・ 期間：春学期：2025年7月16日（水）～23日（水） / 秋学期：2025年12月3日（水）～10日（水）
- ・ 提出方法・執筆要領等の詳細は、履修登録期間前にMy Sophia学科・専攻別掲示板にて通知する。

8. 海外短期研修について

外国語学部の開講する「海外短期研修」は以下の6種類である。本学で開講される事前指導を含む所定のプログラムを修了し、研修に参加して所定の成果を修めた者には、所定の単位が付与される。これらの科目は通常の履修登録期間とは異なる期間・方法により履修登録を行う。また、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。なお、履修要件や研修内容、換算される単位数や充当先が異なるため、各プログラムの開講元の開講科目担当表を確認するとともに、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」やグローバル教育センターからのMy Sophiaへの掲示、また外国語学部のシラバス（講義概要）を熟読すること。

[海外短期研修科目]

- ・ STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON) / 開講元：英語学科
- ・ STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY) / 開講元：英語学科
- ・ 海外短期研修（トリア大学） / 開講元：ドイツ語学科
- ・ 海外短期研修（パリ政治学院） / 開講元：フランス語学科
- ・ 海外短期研修（教皇立ハベリアナ大学） / 開講元：スペイン語学科
- ・ 海外短期研修（デウスト大学） / 開講元：スペイン語学科

9. ナンバリングについて

ナンバリングについては、履修要覧〔ガイド・資料編〕－II.教務－4.ナンバリングを参照すること。

外国語学部の分野コード一覧

分野コード	分野名
AAF	地域研究（アフリカ）
AEU	地域研究（ヨーロッパ）
ALA	地域研究（ラテンアメリカ）
ANA	地域研究（北米）
ARE	地域研究（ロシア・ユーラシア）
ARS	地域研究
ART	美術史
ASA	地域研究（アジア）
CMF	複合領域
ELT	英文学
ENG	英語
FRN	フランス語
GMN	ドイツ語
GRP	卒業論文
GST	グローバル・スタディーズ
HSP	スペイン語
HST	歴史

ICP	国際協力論
IRS	国際関係論
LGC	言語聴覚障害学
LGE	言語学（英語教授法）
LGF	言語学（フランス語）
LGG	言語学（ドイツ語）
LGH	言語学（スペイン語）
LGJ	言語学（日本語教授法）
LGP	言語学（ポルトガル語）
LGR	言語学（ロシア語）
LIT	文学
LNG	言語学
PHL	哲学
POR	（ブラジル）ポルトガル語
RUS	ロシア語
SAC	留学
SOC	社会学
TCP	教職科目

英語学科

英語学科

📁 英語学科について

📁 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📁 2. 標準配当表

📁 3. 履修上の注意

📁 4. 開講科目担当表

英語学科について

〔教育研究上の目的〕

卓越した英語運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（言語学、人文・社会科学、英語圏に関する基礎知識）を修得すること。

〔人材養成の目的〕

英語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること。

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠（CEFR）におけるC1相当（海外の大学院で学べるレベル）に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同C2相当（C1を超えるレベル）に到達することを目標とします。

1. 英語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動（receptive activities）に関する能力
2. 英語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動（productive activities）に関する能力
3. 英語の会話や交渉に代表される相互行為活動（interactive activities）に関する能力
4. 英語の通訳・翻訳などに代表される仲介活動（mediating activities）に関する能力
5. 英語圏の歴史・政治・経済・社会・文化について、世界での位置づけおよび日本との比較を通して理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修英語科目】1・2年次において集中的に学ぶこれらのクラス群では、様々なアクティビティや論文作成を通じて、英語「で」考え、発信し、議論できる4技能におけるアカデミックな英語運用能力の向上を目指す。また、英語が公用語とされている地域の文化・社会についての知識も身につけさせる。授業は、講義、グループワーク、ペアワークなど様々な授業形態を通して多角的に展開されるが、特にプレゼンテーションを重視する科目が多く、内容豊かな事柄をいかに効果的に英語で理解、発信していけるかを追求する。
2. 【第一主専攻・英語圏基礎科目】主に2年次において、英語圏に関する歴史や文化、社会、また言語そのものに関するクラスで学ぶことを通して、英語圏に関しての基礎知識を身につけさせる。授業は、講義、グループワーク、ペアワーク、またプレゼンテーションなどを織り交ぜて多角的に展開される。

3. 【第一主専攻・英語・英語圏研究科目】1年次から4年次にかけて、学生はそれぞれの興味や関心に応じて選択して取れる科目を通じて、英語運用能力をさらに伸ばすとともに、英語や英語圏に関する知識を深化させることができる。授業は、講義、グループワーク、ペアワーク、またプレゼンテーションなどを通して多角的に展開され、参加型で思考しながら学ぶことが強調される。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降

全学共通科目			合計	
必修	8単位	[キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	6単位	[キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]		
選択	8単位			
合計	22単位			

語学科目

必修	8単位
合計	8単位

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	36単位（必修科目16単位、選択科目20単位）
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	58単位
合計	94単位

17～21年次生

全学共通科目			合計	
必修	2単位	[ウエルネスと身体]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]		
選択	16単位（高学年向け教養科目2単位含む）			
合計	22単位			

語学科目

必修	8単位
----	-----

合計	8単位
----	-----

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	36単位 (必修科目16単位、選択科目20単位)
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	58単位
合計	94単位

2. 標準配当表

[英語学科] 標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリハビリアート	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
選択必修 (6単位)			キリスト教人間学	2				
選択 (8単位)					高学年向け科目			4
					※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目(英語・英語選択科目を除く)は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される			

○ 語学科目

語学科目 (8単位) 必修	英語以外の指定された同一言語(注1)
---------------------	--------------------

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
第一主専攻 (16単位) 必修	ENGLISH SKILLS A-1	2	ENGLISH SKILLS B-1	2					
	ENGLISH SKILLS A-2	2	ENGLISH SKILLS B-2	2					
第二主専攻または副専攻 (36単位) 選択	ENGLISH COMPOSITION A-1	1	ENGLISH COMPOSITION B-1	1					
	ENGLISH COMPOSITION A-2	1	ENGLISH COMPOSITION B-2	1					
第二主専攻または副専攻 (16単位) 選択	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2	[英語圏基礎科目] から4単位履修すること						
	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2	[英語・英語圏研究科目] から16単位履修すること(注2)					16	
第二主専攻または副専攻 (16単位) 選択	第二主専攻として履修する場合								
	導入科目								6
第二主専攻または副専攻 (16単位) 選択	コア科目								20
	演習科目								4
第二主専攻または副専攻 (16単位) 選択	卒業論文・卒業研究								6
	副専攻として履修する場合								
第二主専攻または副専攻 (16単位) 選択	導入科目								6
	コア科目								10
その他(注3) (22または42単位) 選択	①第一主専攻(英語)選択科目の【英語・英語圏研究科目】 ②全ての研究コース開講科目、③課程科目(実習を除く)、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、 ⑤語学科目(英語・英語選択科目を除く。上限8単位)、⑥SAIMSプログラム科目(上限4単位。※開講元が全学共通科目のみ)、⑦全学共通科目「データサイエンス(200番台～400番台)」・「視座(200番台～400番台)」カテゴリー(合わせて上限4単位)で充当する。								22 / 42

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。

(注2) 【英語・英語圏研究科目】は科目ごとに履修可能年次が異なるため、開講科目担当表で確認すること。

(注3) 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には22単位、副専攻として履修した場合には42単位となる。

[英語学科] 標準配当表

21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※ 語学科目（英語・英語選択科目を除く）は8単位まで卒業単位に充当できる（注1）						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (8単位)	英語以外の指定された同一言語（注1）
---------------	--------------------

○ 学科学目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学 科 目	第一主専攻 必修 (16単位)	ENGLISH SKILLS A-1	2	ENGLISH SKILLS B-1	2				
		ENGLISH SKILLS A-2	2	ENGLISH SKILLS B-2	2				
		ENGLISH COMPOSITION A-1	1	ENGLISH COMPOSITION B-1	1				
		ENGLISH COMPOSITION A-2	1	ENGLISH COMPOSITION B-2	1				
		CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2						
		CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2						
	選択 (20単位)		[英語圏基礎科目] から 4単位履修すること	4					
			[英語・英語圏研究科目] から16単位履修すること（注2）					16	
	第二主専攻または副専攻 選択 (36単位)	第二主専攻として履修する場合							
		導入科目							
コア科目									
演習科目									
卒業論文・卒業研究									
副専攻として履修する場合 選択 (16単位)	副専攻として履修する場合								
	導入科目								
	コア科目								
その他 (注3) 選択 (22または42単位)	①第一主専攻（英語）選択科目の【英語・英語圏研究科目】 ②全ての研究コース開講科目、③課程科目（実習を除く）、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、 ⑤語学科目（英語・英語選択科目を除く。上限8単位）、⑥SAIMSプログラム科目（上限4単位。※開講元が全学共通科目のみ）で充当する。							22 /42	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。

(注2) 【英語・英語圏研究科目】は科目ごとに履修可能年次が異なるため、開講科目担当表で確認すること。

(注3) 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には22単位、副専攻として履修した場合には42単位となる。

[英語学科] 標準配当表

19～20年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※ 語学科目（英語・英語選択科目を除く）は8単位まで卒業単位に充当できる（注1）						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (8単位) 必修	英語以外の指定された同一言語（注1）
---------------------	--------------------

○ 学科学目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一専攻 (16単位) 必修	ENGLISH SKILLS A-1	2	ENGLISH SKILLS B-1	2				
	ENGLISH SKILLS A-2	2	ENGLISH SKILLS B-2	2				
第一専攻 (16単位) 選択	ENGLISH COMPOSITION A-1	1	ENGLISH COMPOSITION B-1	1				
	ENGLISH COMPOSITION A-2	1	ENGLISH COMPOSITION B-2	1				
	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2						
	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2						
			[英語圏基礎科目] から 4単位履修すること	4				
			[英語・英語圏研究科目] から16単位履修すること（注2）					16
第二専攻または副専攻 (36単位) 選択	第二専攻として履修する場合							
	導入科目							
	コア科目							
	演習科目							
	卒業論文・卒業研究							
副専攻として履修する場合 (16単位) 選択	副専攻として履修する場合							
	導入科目							
その他（注3） (22または42単位) 選択	コア科目							
	② 第一専攻（英語）選択科目の [英語・英語圏研究科目] ② 全ての研究コース開講科目、③課程科目（実習を除く）、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑤語学科目（英語・英語選択科目及び必修語学科目で選択した言語を除く。上限8単位）、⑥SAIMSプログラム科目（上限4単位。※開講元が全学共通科目のみ）で充当する。							

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧 [学部科目編] - 語学科目 - 語学科目履修上の注意を参照。

(注2) [英語・英語圏研究科目] は科目ごとに履修可能年次が異なるため、開講科目担当表で確認すること。

(注3) 「その他」の単位数は、研究コースを第二専攻として履修した場合には22単位、副専攻として履修した場合には42単位となる。

[英語学科] 標準配当表

17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※ 学科学科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目(英語・英語選択科目を除く)は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
						高学年向け教養科目		2

○ 語学科目

語学科目 (8単位) 必修	英語以外の指定された同一言語(注1)
---------------------	--------------------

○ 学科学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
第一主専攻 (16単位) 必修	ENGLISH SKILLS A-1	2	ENGLISH SKILLS B-1	2					
	ENGLISH SKILLS A-2	2	ENGLISH SKILLS B-2	2					
第二主専攻または副専攻 (36単位) 選択	ENGLISH COMPOSITION A-1	1	ENGLISH COMPOSITION B-1	1					
	ENGLISH COMPOSITION A-2	1	ENGLISH COMPOSITION B-2	1					
	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2							
	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2							
			[英語圏基礎科目] から	4					
			[英語・英語圏研究科目] から16単位履修すること(注2)						16
第二主専攻または副専攻 (16単位) 選択	第二主専攻として履修する場合								
	導入科目								6
	コア科目								20
	演習科目								4 (8%)
その他(注3) (22単位) 選択	卒業論文・卒業研究								6
	副専攻として履修する場合								
	導入科目								6
	コア科目								10
	② 第一主専攻(英語)選択科目の[英語・英語圏研究科目] ③ 全ての研究コース開講科目、④ 課程科目(実習を除く)、⑤ 外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑥ 語学科目(英語・英語選択科目及び必修語学科目で選択した言語を除く。上限8単位)、⑦ SAIMSプログラム科目(上限4単位。※開講元が全学共通科目のみ)で充当する。								22 (18%) /42

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。

(注2) [英語・英語圏研究科目]は科目ごとに履修可能年次が異なるため、開講科目担当表で確認すること。

(注3) 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には22単位、副専攻として履修した場合には42単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

3. 履修上の注意

- ・ 「外国語学部について」（履修要覧[学部科目編]—外国語学部—外国語学部について）と合わせて読むこと。
- ・ 科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」に解説があるので参照すること。
- ・ 学則40条にもとづき、連続する2年間に合計32単位以上を修得できなかった者は退学となる。

①第一主専攻必修科目について

1. 1年次において「ENGLISH SKILLS A-1、A-2」（4単位）、「ENGLISH COMPOSITION A-1、A-2」（2単位）、「CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1、2」（4単位）、2年次において「ENGLISH SKILLS B-1、B-2」（4単位）、「ENGLISH COMPOSITION B-1、B-2」（2単位）を履修する。
2. 1・2年次必修科目は、英語を読む、書く、聴く、話す基礎力をつけることを目的とするため、すべてグループ指定である。グループ分けは、入学時の英語プレイスメントテストの結果によって行う。

②第一主専攻選択科目について

1. 2年次に、開講科目担当表の〔英語圏基礎科目〕から必要な単位数（4単位）を満たすよう履修する。
2. 〔英語・英語圏研究科目〕は、英語や英語圏に関する知識を深化することを目的とする科目群である。開講科目担当表に記載された科目から指定単位数（16単位）を履修する。履修可能年次が科目ごとに異なるため、開講科目担当表で確認すること。
3. 履修にあたってのその他の注意
 - 3.1. 1・2年次「英語必修科目」（16単位）、2年次〔英語圏基礎科目〕（4単位）は、いずれも定められた単位を超えて修得しても卒業単位数に充当することはできない。
 - 3.2. 〔英語・英語圏研究科目〕（16単位）を指定された要件以上に修得した場合、すべて「学科科目：その他」に充当する。
 - 3.3. 言語教育研究センターの英語及び英語選択科目を履修しても、卒業に必要な単位としては、認められない。

③第二主専攻、副専攻科目の履修について

1. 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二主専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
2. 第二主専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページを熟読すること。

④「学科科目：その他」について

1. 第二主専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二主専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
2. 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の履修要覧やシラバスを参照したうえで、他学科生の履修可否について担当教員の確認を必要とする。

⑤時間割について

「開講科目担当表」において、備考欄の「(コ)」は、その科目が研究コース科目であることを示す。研究コース科目の履修登録については、以下の通り行うこと。この記号のない科目の履修登録については、「英語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで、履修登録すること。

1. My Sophiaに各学期初めに記載される「研究コース科目時間割所属について」の掲示にて、履修したい科目がどの研究コース所属（時間割の参照先）であるかを確認すること。（研究コース科目は複数の研究コースに跨っている科目があり、参照先をまず確認する必要がある。）
2. Loyolaの時間割（トップ画面/カリキュラム履修関係→時間割）にて履修したい科目の研究コースの時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで、履修登録すること。

⑥専攻語（英語）以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」は必修である。学科別履修指定言語(必修・選択必修)*1を参照し、専攻語（英語）以外の指定された言語の中から1つの言語を選択して8単位履修すること。8単位は全て同一の言語でなければならない。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがって英語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語（英語）以外にもう1つ、または複数の外国語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

1. 標準配当表「語学科目」での必修8単位に加え、さらに専攻語（英語）以外の語学科目を履修し、「全学共通科目」の選択科目として8単位まで充当することができる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)*1を参照すること。なお、標準配当表「語学科目」で選択したものと同一言語を履修することもできる。
2. 上記1とは別に、学科が指定する言語（英語以外/20次生以前については英語及び必修語学科目で選択した言語以外）の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)*1を参照すること。

*1 履修要覧 [学部科目編] - 語学科目 - 語学科目履修上の注意 参照

⑦海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、英語学科学生が参加できる研修は以下の5種類である。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、上智大学の卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず各プログラムの開講元の開講科目担当表を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにMy Sophia（グローバル教育センター）に掲載される詳細情報を参照すること。

- STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON) / 開講元：英語学科
- STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY) / 開講元：英語学科
- 海外短期研修 (パリ政治学院) / 開講元：フランス語学科
- 海外短期研修 (教皇立ハベリアナ大学) / 開講元：スペイン語学科
- 海外短期研修 (デウスト大学) / 開講元：スペイン語学科

⑧英語学科「第一主専攻選択科目」と各研究コース「コア科目」のクロスリスティング（重複開講）について

英語学科「第一主専攻選択科目」の一部は研究コース「コア科目」としても開講されている。それらの科目を「第一主専攻選択科目」として履修するか「コア科目」として履修するか、どちらかを選ばなくてはならない。同一の科目を「第一主専攻選択科目」と「コア科目」の両方に算入することは出来ない。「第一主専攻選択科目」のどの科目が「コア科目」として開講されているかについては、開講科目表の備考欄の注記を参照のこと。

⑨年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。



(注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

! 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

4. 開講科目担当表

開講科目担当表〔英語学科〕
 学科科目〔第一専攻必修科目〕※英語学科生のみ履修可

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	520011	ENG101-51e00	ENGLISH SKILLS A-1	2	春	STRUWIG Dillon 出口 真紀子 MACINTYRE Robert 坂本 光代 MAXFIELD Deborah MAXFIELD Deborah *MORRELL Audrey FAIRBROTHER Lisa	1	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ
	520021	ENG102-51e00	ENGLISH SKILLS A-2	2	秋	STRUWIG Dillon 出口 真紀子 MACINTYRE Robert 坂本 光代 MAXFIELD Deborah MAXFIELD Deborah *MORRELL Audrey FAIRBROTHER Lisa	1	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ
	520111	ENG103-51e00	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 1	2	春	WADHWA Megha KAUFMAN Marc STRUWIG Dillon LEE Heidi	1	○	ABグループ CDグループ EFグループ GHグループ
	520121	ENG104-51e00	CULTURES OF THE ENGLISH-SPEAKING WORLD 2	2	秋	WADHWA Megha KAUFMAN Marc STRUWIG Dillon LEE Heidi	1	○	ABグループ CDグループ EFグループ GHグループ
	504011	ENG111-51e00	ENGLISH COMPOSITION A-1	1	春	LEE Heidi KAUFMAN Marc 坂下 史子 STRUWIG Dillon LEE Heidi 山中 美潮 MAXFIELD Deborah MAXFIELD Deborah	1	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ
	504012	ENG112-51e00	ENGLISH COMPOSITION A-2	1	秋	LEE Heidi KAUFMAN Marc 坂下 史子 STRUWIG Dillon LEE Heidi 山中 美潮 MAXFIELD Deborah MAXFIELD Deborah	1	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ
	520211	ENG201-51e00	ENGLISH SKILLS B-1	2	春	WILLIAMS John 坂下 史子 竹田 安裕子 山中 美潮 小川 公代 LEE Heidi WADHWA Megha 大塚 祐子	2	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ
	520221	ENG202-51e00	ENGLISH SKILLS B-2	2	秋	WILLIAMS John 坂下 史子 竹田 安裕子 山中 美潮 小川 公代 LEE Heidi WADHWA Megha 大塚 祐子	2	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ
	504021	ENG211-51e00	ENGLISH COMPOSITION B-1	1	春	MACINTYRE Robert MACINTYRE Robert 大塚 祐子 東郷 公徳 竹田 安裕子 竹田 安裕子 北原 真冬 北原 真冬	2	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ
	504031	ENG212-51e00	ENGLISH COMPOSITION B-2	1	秋	MACINTYRE Robert MACINTYRE Robert 大塚 祐子 東郷 公徳 竹田 安裕子 竹田 安裕子 北原 真冬 北原 真冬	2	○	Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ Eグループ Fグループ Gグループ Hグループ

学科科目【第一専攻選択科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考		
選択科目	英語圏基礎科目										
		521257	ANA157-51e00	AMERICAN STUDIES 1	2	春	竹田 安裕子	2	○	[80名]、注6	
		521258	ANA158-51e00	AMERICAN STUDIES 2	2	休講		2	○	注6	
		521275	ANA175-51e00	MIGRATION STUDIES	2	秋	山中 美潮	2	○	[80名]、4年次生優先、注6	
		521274	ELT141-51e00	THEORETICAL PERSPECTIVES ON LITERATURE	2	春	小川 公代	2	○	[80名]、注6	
		521280	ELT151-51j00	英文学講義1	2	春	東郷 公徳	2		[60名]、注6	
		521281	ELT152-51j00	英文学講義2	2	秋	東郷 公徳	2		[60名]、注6	
		521278	LNG177-51e00	THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 1	2	春	北原 真冬	2	○	注6	
		521279	LNG178-51e00	THE SOUNDS AND VARIETIES OF LANGUAGES 2	2	休講	北原 真冬	2	○	注6	
		522903	LNG123-51e00	TOPICS IN LINGUISTICS A	2	秋	大塚 祐子	2	○	[60名]、注6	
		522904	LNG124-51e00	TOPICS IN LINGUISTICS B	2	休講	大塚 祐子	2	○	[60名]、注6	
	英語・英語圏研究科目	英語・英語圏研究科目									
			501267	ELT176-51j00	シェイクスピア入門	4	春	東郷 公徳	1~4		[200名]
			501384	ENG161-51e00	SKILLS FOR STUDY ABROAD 1A	1	1Q	STRUWIG Dillon	1~4	○	[50名]
		501385	ENG171-51e00	SKILLS FOR STUDY ABROAD 1B	1	2Q	STRUWIG Dillon	1~4	○	[50名]	
		501386	ENG162-51e00	SKILLS FOR STUDY ABROAD 2A	1	3Q	STRUWIG Dillon	1~4	○	[50名]	
		501387	ENG172-51e00	SKILLS FOR STUDY ABROAD 2B	1	4Q	STRUWIG Dillon	1~4	○	[50名]	
		501388	EDU301-51e00	DIVERSITY AND INCLUSION IN EDUCATION 1	2	休講		2~4	○	[30名]	
		501389	EDU302-51e00	DIVERSITY AND INCLUSION IN EDUCATION 2	2	休講		2~4	○	[30名] 外国語学部3・4年次生優先	
		501381	AEU306-50e00	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 1	2	休講	WILLIAMS Laurence	2~4	○	[80名]、注2、(コ)	
		501382	AEU307-50e00	BRITISH HISTORY AND CULTURE IN A GLOBAL CONTEXT 2	2	休講	WILLIAMS Laurence	2~4	○	[80名]、注2、(コ)	
		501383	ART383-51e00	(隔) FILM STUDIES	4	休講	WILLIAMS John	2~4	○	[40名]	
		501338	ANA307-50e00	(隔) PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION	2	春	出口 真紀子	2~4	○	[200名]、注3、(コ)	
		501340	ANA308-50e00	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 1	2	休講	出口 真紀子	2~4	○	[200名]、注3、(コ)	
		501341	ANA309-50e00	(隔) CULTURAL PSYCHOLOGY 2	2	休講	出口 真紀子	2~4	○	[200名]、注3、(コ)	
		501295	LNG304-50e00	INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	春	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	注4、(コ)	
		501296	LNG305-50e00	(隔) INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	秋	FAIRBROTHER Lisa	2~4	○	注4、(コ)	
		501286	GST301-50e00	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1	2	春	飯島 真里子	2~4	○	注3、注5、(コ)	
		501287	GST302-50e00	(隔) HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	休講	飯島 真里子	2~4	○	注3、注5、(コ)	
		501356	AEU303-50e00	(隔) EUROPEAN CINEMA 1	2	休講	WILLIAMS John	2~4	○	[40名]、注2、(コ)	
		501357	AEU304-50e00	(隔)(重) EUROPEAN CINEMA 2	2	休講	WILLIAMS John	2~4	○	[40名]、注2、(コ)	
		501354	AEU301-50e00	(隔)(重) BRITISH CULTURE AND FICTION 1	2	春	小川 公代	2~4	○	[50名]、注2、(コ)	
		501355	AEU302-50e00	(隔)(重) BRITISH CULTURE AND FICTION 2	2	秋	小川 公代	2~4	○	[50名]、注2、(コ)	
		690327	AEU357-50e00	BRITISH ENVIRONMENTAL HISTORY AND PHILOSOPHY	2	休講	STRUWIG Dillon	2~4	○	[40名]、注2、(コ)	
		690328	AEU358-50e00	BRITISH PHILOSOPHY AND POLITICAL THEORY	2	秋	STRUWIG Dillon	2~4	○	注2、(コ)	
		690330	AEU360-50e00	BRITISH IMPERIALISM AND POSTCOLONIALISM	2	休講	WILLIAMS Laurence	2~4	○	[80名]、注2、(コ)	
		690346	LNG351-50m00	LEARNING AND TEACHING IN THE CLIL APPROACH	4	秋	*矢崎 真紀	2~4		[50名]、注4、(コ)	
		523101	ENG305-51e00	ENGLISH CONVERSATION 1A	1	休講	竹田 安裕子	3・4	○	[30名]、英語学科3・4年次生優先	
		523102	ENG312-51e00	ENGLISH CONVERSATION 1B	1	休講	竹田 安裕子	3・4	○	[30名]、英語学科3・4年次生優先	
		523103	ENG306-51e00	ENGLISH CONVERSATION 2A	1	休講	竹田 安裕子	3・4	○	[30名]、英語学科3・4年次生優先	
		523104	ENG313-51e00	ENGLISH CONVERSATION 2B	1	休講	竹田 安裕子	3・4	○	[30名]、英語学科3・4年次生優先	
		501248	ENG308-51e00	PRESENTATION SKILLS 1	2	春	山中 美潮	3・4	○	[30名]	
		501249	ENG309-51e00	PRESENTATION SKILLS 2	2	秋	竹田 安裕子	3・4	○	[30名]	
		501245	ENG310-51e00	ACADEMIC WRITING 1	2	春	WADHWA Megha	3・4	○	[20名]	
		501246	ENG311-51e00	ACADEMIC WRITING 2	2	秋	WADHWA Megha	3・4	○	[20名]	
		501092	ENG392-51e00	CREATIVE WRITING 1	2	春	KAUFMAN Marc	3・4	○	[30名]、英語学科3・4年次生優先	
		501093	ENG393-51e00	CREATIVE WRITING 2	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[30名]、英語学科3・4年次生優先	
		501250	ENG314-51e00	JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 1	2	春	WILLIAMS John	3・4	○	[40名]	
		501251	ENG315-51e00	JAPANESE-ENGLISH TRANSLATION 2	2	秋	WILLIAMS John	3・4	○	[40名]	
		523001	ENG316-51e00	READING SKILLS A	2	休講	竹田 安裕子	3・4	○	[30名]	
		523002	ENG317-51e00	READING SKILLS B	2	春	竹田 安裕子	3・4	○	[50名]	
		523003	ENG326-51e00	READING SKILLS C	2	休講	小川 公代	3・4	○	[40名]	
		523004	ENG327-51e00	READING SKILLS D	2	休講	小川 公代	3・4	○	[40名]	
		501106	ENG318-51e00	DISCUSSION AND DEBATE 1	2	休講	山中 美潮	3・4	○	[30名]、注7	
		501107	ENG319-51e00	DISCUSSION AND DEBATE 2	2	秋	山中 美潮	3・4	○	[30名]、注7	
		501256	ENG320-51e00	BUSINESS COMMUNICATION 1	2	春	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名]	
		501257	ENG321-51e00	BUSINESS COMMUNICATION 2	2	休講	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名]	
		501254	ENG322-51e00	DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 1	2	休講	MACINTYRE Robert	3・4	○	[30名]、注7	
		501255	ENG323-51e00	DISCUSSION ON CONTEMPORARY ISSUES 2	2	秋	山中 美潮	3・4	○	[30名]、注7	
		522800	ENG300-51e00	GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	KAUFMAN Marc	3・4	○	[30名]	
		501400	SOC301-51e00	GENDER AND SOCIETY: PERSPECTIVES FROM THE ENGLISH-SPEAKING WORLD AND BEYOND	2	春	WADHWA Megha	2~4	○		

選択科目	英語・英語圏研究科目	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
		501397	GST301-51e00	NARRATIVES OF GLOBAL MIGRATION THROUGH VISUAL MEDIA	2	秋	WAIHWA Megha	2~4	○	
		501398	PSY301-51e00	INTRODUCTION TO COGNITIVE PSYCHOLOGY	2	春	MAXFIELD Deborah	2~4	○	
		501399	ELT301-51e00	SOCIAL ISSUES IN BRITISH AND AMERICAN FANTASY WRITING	2	秋	MAXFIELD Deborah	2~4	○	
		501401	CUL301-51e00	WOMEN IN FILM	2	春	LEE Heidi	2~4	○	
		501402	AAF301-51e00	CULTURES AND SOCIETIES OF ANGLOPHONE AFRICA	2	春	*KINYUA Kithinji	2~4	○	
		501403	AAF302-51e00	ENGLISH CREATIVE WRITING FROM AFRICA: THEMES, CONTEXTS, AND NARRATIVES	2	秋	*KINYUA Kithinji	2~4	○	
		GSS20340	GST207-02e00	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 1	2					(他) 全学共通科目
		GSS20660	GST220-02e00	DEBATE ON PEACEBUILDING	2					(他) 全学共通科目
		GSS20360	GST209-02e00	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2					(他) 全学共通科目
		ART201	ART201-65e00	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 1	4					(他) 国際教養学部、注1
		ART250	ART250-65e00	INTRODUCTION TO ART HISTORY/ VISUAL CULTURE 2	4					(他) 国際教養学部、注1
		LIT201	LIT201-65e00	LITERARY GENRES	4					(他) 国際教養学部、注1
		LIT231	LIT231-65e00	INTRODUCTION TO JAPANESE LITERATURE	4					(他) 国際教養学部、注1
		RPH201	RPH201-65e00	INTRODUCTION TO PHILOSOPHY	4					(他) 国際教養学部、注1
		IBE200	IBE200-65e00	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4					(他) 国際教養学部、注1
		IBE201	IBE201-65e00	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4					(他) 国際教養学部、注1
		ANT202	ANT202-65e00	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4					(他) 国際教養学部、注1
		SOC201	SOC201-65e00	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4					(他) 国際教養学部、注1
		HST251	HST251-65e00	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 1	4					(他) 国際教養学部、注1
		HST252	HST252-65e00	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 2	4					(他) 国際教養学部、注1
		POL201	POL201-65e00	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4					(他) 国際教養学部、注1
		POL205	POL205-65e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4					(他) 国際教養学部、注1
		POL210	POL210-65e00	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4					(他) 国際教養学部、注1

学科科目[その他]

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	教職科目	教職科目								
		501259	LGE213-51i00	英語科教育法 A	2	春	渡部 良典	2~4		注4
		501375	LGE216-51e00	METHODS IN TEACHING ENGLISH B	2	春	峰松 愛子	2~4	○	[30名]、教職課程履修者次いで高年次生優先、外国語学部生のみ履修可、注4
		501261	LGE214-51e00	METHODS IN TEACHING ENGLISH C	2	春	和泉 伸一	2~4	○	[30名]、教職課程履修者次いで高年次生優先、外国語学部生のみ履修可、注4
		501349	LGE215-51e00	METHODS IN TEACHING ENGLISH D	2	秋	MACINTYRE Robert	2~4	○	[30名]、教職課程履修者優先、外国語学部生のみ履修可、注4
		501376	LGE217-51e00	METHODS IN TEACHING ENGLISH E	2	秋	林 堇	2~4	○	[30名]、教職課程履修者優先、外国語学部生のみ履修可、注4

(二)この科目の開講曜日・時間については、Loyolaの「外国語学部コース科目」の時間割を参照すること。

注1：国際教養学部の科目を履修する場合には、学事センターの指示に従い、所定の手続きをふむこと。

注2：ヨーロッパ研究コースとのクロスリスティング科目

注3：北米研究コースとのクロスリスティング科目

注4：言語研究コースとのクロスリスティング科目

注5：アジア研究コースとのクロスリスティング科目

注6：英語学科2年次生以上のみ履修可。

注7：英語学科3・4年次生のみ履修可。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	N99221	SAC104-51e00	STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON)	4	春	英語学科教員	1~4	○	注1、2、3
	N99217	SAC103-51e00	STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY)	2	春	英語学科教員	1~4	○	注1、2、3

注1：本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。

なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

注2：付与される単位は、「全学共通科目（選択科目）」もしくは「学科科目：その他」に充当される。

注3：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する。

The Graduate Institute of International and Development Studies (ジュネーブ国際・開発研究大学院:GI)との3+2プログラム単位互換科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	513900	SAC401-51e00	ジュネーブ国際・開発研究大学院との3+2プログラム	10	春	所属学科長	4	○	注1、2、3

注1：本学での学内選考とジュネーブ国際・開発研究大学院（以下GI）の選考を通過し、先方の大学院で単位修得した場合、本学では上記科目として単位認定をおこなう。

注2：GIとの3+2プログラムは、計画的な履修が必要となるため、プログラムに参加を希望する場合は、学科長から事前に履修説明を受けること。

注3：プログラムの詳細は、グローバル教育センターに確認すること。

ドイツ語学科

ドイツ語学科

📄 ドイツ語学科について

📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📄 2. 標準配当表

📄 3. 履修上の注意

📄 4. 開講科目担当表

ドイツ語学科について

〔教育研究上の目的〕

ドイツ語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、ドイツ語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

ドイツ語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠（CEFR）におけるB2相当（海外の大学で学べるレベル）に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同C1相当（海外の大学院で学べるレベル）に到達することを目標とします。

1. ドイツ語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動（receptive activities）に関する能力
2. ドイツ語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動（productive activities）に関する能力
3. ドイツ語の会話や交渉に代表される相互行為活動（interactive activities）に関する能力
4. ドイツ語の通訳・翻訳などに代表される仲介活動（mediating activities）に関する能力
5. ドイツ語圏の歴史・文化・政治・社会について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目（基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱ）】1・2年次では、文法・読解を中心とする講義・演習形式の授業と、複数のネイティブスピーカーの教員と日本人教員が連携して「聞く、話す、読む、書く」の4技能をペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションなどを含む実践的練習によって伸ばす授業を通して、ドイツ語の基礎的運用能力の修得を目指す。コミュニケーションの授業においては、教員の授業における使用言語も主にドイツ語である。いずれの授業においても、能動的な授業参画が前提であり、授業中および授業外における主体的な学習が求められる。
2. 【第一主専攻・必修科目（ドイツ語Ⅲ・専門読解準備コース）】1・2年次で修得したドイツ語の基礎学力を用いて、3・4年次では、実践的に語学力を運用する高度なスキルを学ぶ。表現と聴解演習からなるドイツ語Ⅲでは、授業は主にドイツ語で進められ、ペアやグループでのコミュニケーションやプレゼンテーション、聴解能力を高める聞き取りや書き取りなど、多様な形式で学ばせる。また専門読解準備コースでは、言語、思想・文化、政治・社会の3領域について、より高度な内容の文献講読を通して、専門的な内容の読解をする力を身につけさせる。
3. 【第一主専攻・語圏基礎科目（ドイツ語圏研究）】1・2年次において、ドイツ語圏における歴史・政治・経済・社会・文化・言語など、ドイツ語を基盤として今後ドイツ語圏について学んでいくための基礎的知識を身につけることを目指す。また、文献検索やレポート作成などの基礎的な学術能力を身につけさせる。主に在外履修をはじめ留学に行く学生向けに、ドイツ語圏での生活や大学での学びのための準備も行う。授業では講義の他、グループワークやプレゼンテーションなども実施される。

4. 【在外履修に伴う履修科目】基礎ドイツ語Ⅱとドイツ語圏研究の一部およびドイツ語Ⅲは、2年次秋学期におけるドイツ語圏の協定校での在外履修によって、修得することができる。また在外履修や交換留学から帰国した学生は、学部の研究コース科目のうち、学科が「日独比較研究」科目として指定する科目（通訳・翻訳を含む）を履修し、ドイツ語圏からの留学生と共に学ぶことで、異文化間コミュニケーション能力を高めるとともに、各分野の比較研究を深める。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降

全学共通科目			合計	
必修	8単位	[キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	6単位	[キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]		
選択	12単位			
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
合計	4単位

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	40単位（必修科目32単位、選択科目8単位）
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	54単位
合計	94単位

18～21年次生

全学共通科目			合計	
必修	2単位	[ウエルネスと身体]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]		
選択	20単位（高学年向け教養科目2単位含む）			
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
----	-----

合計	4単位
----	-----

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	40単位 (必修科目32単位、選択科目8単位)
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	54単位
合計	94単位

2. 標準配当表

【ドイツ語学科】標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリハビリアート	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
選択必修 (6単位)	課題・視座・立場性を考える	2	キリスト教人間学	2	高学年向け科目	4		
選択 (12単位)	※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される							

○ 語学科目

語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
第一主専攻 (32単位) 必修	基礎ドイツ語 I a-1	2	基礎ドイツ語 II a-1	2					
	基礎ドイツ語 I a-2	2	基礎ドイツ語 II a-2	2					
	基礎ドイツ語 I b-1	4	基礎ドイツ語 II b-1	6					
	基礎ドイツ語 I b-2	4	基礎ドイツ語 II b-2	2					
	ドイツ語圏研究A	2	ドイツ語圏研究C	2					
	ドイツ語圏研究B	2	ドイツ語圏研究D	2					
選択 (8単位)	選択科目「ドイツ語Ⅲ」の表現・聴解それぞれから2科目2単位を履修すること。						4		
	「専門読解準備コース」から履修すること。						4		
第二主専攻として履修する場合									
第二主専攻または副専攻 (27単位) 選択	導入科目								6
	コア科目								20
	演習科目								4
	卒業論文・卒業研究								6
副専攻として履修する場合									
選択 (16単位)	導入科目								6
	コア科目								10
その他(注2) (18または38単位) 選択	①第一主専攻選択科目(ドイツ語Ⅲ、専門読解準備コース)、②文学部ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く)、③全ての研究コース開講科目、④課程科目(実習を除く)、⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑥語学科目(ドイツ語を除く。上限8単位)、⑦在外履修期間終了直前の春期休暇中の語学集中コースで取得した単位(最大2単位)、⑧全学共通科目「データサイエンス(200番台~400番台)」・「視座(200番台~400番台)」カテゴリー(合わせて上限4単位)で充当する。								18 / 38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学科科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

【ドイツ語学科】標準配当表

18～21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一主専攻 (32単位) 必修	基礎ドイツ語 I a-1	2	基礎ドイツ語 II a-1	2				
	基礎ドイツ語 I a-2	2	基礎ドイツ語 II a-2	2				
	基礎ドイツ語 I b-1	4	基礎ドイツ語 II b-1	6				
	基礎ドイツ語 I b-2	4	基礎ドイツ語 II b-2	2				
	ドイツ語圏研究A	2	ドイツ語圏研究C	2				
	ドイツ語圏研究B	2	ドイツ語圏研究D	2				
					選択科目「ドイツ語Ⅲ」の表現・聴解それぞれから2科目2単位を履修すること。			4
					「専門読解準備コース」から履修すること。			4
第二主専攻として履修する場合								
導入科目								
				コア科目				6
					演習科目			20
						卒業論文・卒業研究		4
								6
副専攻として履修する場合								
導入科目								
				コア科目				6
								10
その他 (注2) (18または38単位) 選択	①第一主専攻選択科目(ドイツ語Ⅲ、専門読解準備コース)、②文学部ドイツ文学科開講「学科科目」A-B群(外国語学部またはドイツ語学科との合併科目を除く)、③全ての研究コース開講科目、④課程科目(実習を除く)、⑤外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑥語学科目(ドイツ語を除く。上限8単位)、⑦在外履修期間終了直前の春期休暇中の語学集中コースで取得した単位(最大2単位)で充当する。							18 / 38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

3.履修上の注意

- ・「外国語学部について」（履修要覧[学部科目編]－外国語学部－外国語学部について）と合わせて読むこと。
- ・科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」に解説があるので参照すること。
- ・学則40条には、「連続する2か年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する」とある。したがって、
 - 1) 連続する2か年で32単位を修得できなかった場合は、退学となる。
 - 2) 学科が各年次で指定する下記科目のうち、同一科目を連続する2か年において修得できなかった場合は、退学となる。
1年次：「基礎ドイツ語Ⅰa-1」、「基礎ドイツ語Ⅰa-2」、「基礎ドイツ語Ⅰb-1」、「基礎ドイツ語Ⅰb-2」
2年次：「基礎ドイツ語Ⅱa-1」、「基礎ドイツ語Ⅱa-2」、「基礎ドイツ語Ⅱb-1」、「基礎ドイツ語Ⅱb-2」※在外履修時の「基礎ドイツ語Ⅱa-2/Ⅱb-2」も上記に含まれる
ただし、「基礎ドイツ語Ⅰa-2」、「基礎ドイツ語Ⅰb-2」、「基礎ドイツ語Ⅱa-2」、「基礎ドイツ語Ⅱb-2」について、履修の前提となる科目を修得できなかったために履修できなかった年度は、連続する2か年には計上しない。なお、「連続する2か年」の定義は、履修要覧〔ガイド・資料編〕－Ⅱ.教務－8.単位修得不足者の扱い（学則第40条）を確認すること。

①第一主専攻必修科目について

1. 本学科開講の必修および選択科目は、原則として指定年次に履修すること。
2. 1・2年次必修のドイツ語文法クラスは次の順に履修すること。
「基礎ドイツ語Ⅰa-1」→「基礎ドイツ語Ⅰa-2」→「基礎ドイツ語Ⅱa-1」→「基礎ドイツ語Ⅱa-2」
それぞれの単位を修得できなかった場合は、先に進めず再履修となる。なお、「基礎ドイツ語Ⅰa-2」、「基礎ドイツ語Ⅱa-2」を修得できなかった場合は、それぞれの春学期の授業にも参加することを強く勧める。
3. 1・2年次必修のドイツ語コミュニケーションクラスは次の順に履修すること。
「基礎ドイツ語Ⅰb-1」→「基礎ドイツ語Ⅰb-2」→「基礎ドイツ語Ⅱb-1」→「基礎ドイツ語Ⅱb-2」
それぞれの単位を修得できなかった場合は、先に進めず再履修となる。なお、「基礎ドイツ語Ⅰb-2」、「基礎ドイツ語Ⅱb-2」を修得できなかった場合は、それぞれの春学期の授業にも参加することを強く勧める。
4. 「基礎ドイツ語Ⅱa-2」および「基礎ドイツ語Ⅱb-2」の単位を未修得の者は、「ドイツ語Ⅲ」と「専門読解準備コース」を履修することはできない。
5. 必修の〔ドイツ語圏基礎科目〕群のうち「ドイツ語圏研究A」と「ドイツ語圏研究B」は1年次で、「ドイツ語圏研究C」と「ドイツ語圏研究D」は2年次で履修すること。単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修しなければならない。
6. ドイツ語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。

②第一主専攻選択科目について

1. 「ドイツ語Ⅲ」の4単位は、「表現」2単位と「聴解」2単位を修得すること（各科目の1、2を続けて履修することが望ましい。例：表現A-1、表現A-2）。
2. 「専門読解準備コース」は、開講されている科目の中から4科目4単位を修得すること。ただし、原則として同じクォーターに2科目以上の「専門読解準備コース」を履修することはできない。
3. 「ドイツ語Ⅲ」と「専門読解準備コース」の修得単位の余剰分は、「学科科目：その他」の単位として充当する。

③ドイツ語学科の「在外履修」について

1. 「在外履修」とは、全学的に実施されている従来の交換留学・一般留学に加え、ドイツ語学科独自に設定した交換留学制度である。2および3の条件を満たしたドイツ語学科生は、在外履修交換留学協定のあるドイツ語圏の大学で在外履修を行うことができる。
2. 在外履修の条件は、ドイツ語既修者を除き「基礎ドイツ語Ⅰa-2」、「基礎ドイツ語Ⅰb-2」の成績が「C」以上であり、かつ「基礎ドイツ語Ⅱa-1」、「基礎ドイツ語Ⅱb-1」を修得していることである。

- 在外履修を開始するまでに「ドイツ語圏研究A」「ドイツ語圏研究B」「ドイツ語圏研究C」のうち、最低2科目を修得することが在外履修の必須条件となる。
- 在外履修希望者には「基礎ドイツ語Ia」、「基礎ドイツ語Ib」の成績および面接試験の結果をもとに留学先を決定する。
- 在外履修は1学期間（2年次秋学期）とする。
- 在外履修期間の単位換算：留学先の大学でドイツ語の授業を受講（その成績表を提出）し、かつ在外履修終了時期に実施するドイツ語の試験で相応の点数を取得すれば、最大10単位を換算することができる。

充当科目名：

「基礎ドイツ語II a-2（在外履修）」（2単位）

「基礎ドイツ語II b-2（在外履修）」（2単位）

「ドイツ語圏研究D（在外履修）」（2単位）

「表現（在外履修）」（2単位）

「聴解（在外履修）」（2単位）

2年次秋学期履修登録期間に以上の科目を忘れずに履修登録すること。なお在外履修期間終了直前の春期休暇中に語学集中コースを受講し、そこで修得した単位は、2単位まで「学科科目：その他」に充当することができる（在外履修開始直前の夏休みに受講した語学集中コースは充当不可）。

- 6の単位とは別に、在外期間中に修得した科目の単位は、2単位まで「第二主専攻または副専攻」あるいは「学科科目：その他」に充当することができる。
- 在外履修で取得した単位の認定は帰国後に行い、第一主専攻科目についてはドイツ語学科で認定し、第二主専攻および副専攻科目については、ドイツ語学科と該当するコースの主任により認定する。
- 在外履修期間中に履修を中止して途中帰国した学科生には、原則として四谷キャンパスに在籍中の学科生と同等の試験などを課して成績評価をする。
- 在外履修や従来の交換留学から帰国した学科生は、原則として、学科が「日独比較研究」科目として指定する以下の科目群から最低4単位履修すること。これらの科目は「言語研究コース」、「ヨーロッパ研究コース」、「国際政治論研究コース」、「市民社会・国際協力論研究コース」で開講されているので、詳しくは各研究コースの開講科目担当表を参照すること。総合グローバル学部の下で卒論を書く、ロシア・ユーラシア研究コースを選択している等の理由で4単位履修できない場合には、学科長の許可を取る必要がある。

科目コード	ナンバリング	開講期	授業科目	担当者	各研究コース名
530530	LGG401-50j00	春	演習（語の意味と語法）1	高橋 亮介	言語研究コース
530540	LGG402-50j00	秋	演習（語の意味と語法）2	高橋 亮介	言語研究コース
530570	LGG403-50g00	春	演習（応用言語学・日本におけるドイツ語教育）1	LIPSKY Angela	言語研究コース
530580	LGG404-50g00	秋	演習（応用言語学・日本におけるドイツ語教育）2	LIPSKY Angela	言語研究コース
538701	LNG319-50g00	春	異文化間コミュニケーション1	*小田 謙爾	言語研究コース
538702	LNG320-50g00	秋	異文化間コミュニケーション2	*小田 謙爾	言語研究コース
537207	AEU409-50m00	春	演習（日独社会研究）1	木村 護郎クリストフ	ヨーロッパ研究コース、市民社会・国際協力論研究コース
537208	AEU410-50m00	秋	演習（日独社会研究）2	木村 護郎クリストフ	ヨーロッパ研究コース、市民社会・国際協力論研究コース
537217	AEU438-50j00	春	演習（日本とヨーロッパの政治）1	河崎 健	ヨーロッパ研究コース、国際政治論研究コース

537218	AEU439-50j00	秋	演習（日本とヨーロッパの政治）2	河崎 健	ヨーロッパ研究コース、国際政治論研究コース
539304	AEU320-50m00	春	日独経済比較研究	*芳賀 和恵	ヨーロッパ研究コース
539306	AEU322-50m00	秋	日独環境比較研究	*竹内 彩乃	ヨーロッパ研究コース
690336	LGG307-50j00	春	独日翻訳入門	浅見 昇吾	言語研究コース
537219	AEU442-50g00	春	演習（カルチュラル・スタディーズ：ドイツ語圏文化と日本文化の比較）1	SATO-PRINZ Manuela	ヨーロッパ研究コース
537220	AEU443-50g00	秋	演習（カルチュラル・スタディーズ：ドイツ語圏文化と日本文化の比較）2	SATO-PRINZ Manuela	ヨーロッパ研究コース
690357	AEU362-50g00	春	比較文化論1	*オブヒュルス鹿島 ライノルト	ヨーロッパ研究コース
690358	AEU363-50g00	秋	比較文化論2	*オブヒュルス鹿島 ライノルト	ヨーロッパ研究コース

11. 在外履修で指定されている科目のうち基礎ドイツ語の4単位（上記6参照）を修得済みであることを条件に、従来型の交換留学をすることが可能である（一般・休学留学の場合には在外履修が必須条件ではない。またドイツ語既習者などの飛び級生は在外履修なしで交換留学が可能である。）ただし、在外履修と交換留学もしくは一般留学とを合わせた期間は一年半を上限とする。交換留学もしくは一般留学（休学留学を除く）で修得した単位は、在外履修で換算した単位とは別に、30単位まで換算することができる。

④第二専攻、副専攻科目の履修について

1. 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
2. 第二専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページを熟読すること。

⑤「学科科目：その他」について

1. 第二専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
2. 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の履修要覧やシラバスを参照したうえで、他学科生の履修可否について担当教員の確認を必要とする。

⑥時間割について

「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「ドイツ語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑦専攻語（ドイツ語）以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってドイツ語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語（ドイツ語）以外の言語、特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

1. 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し、標準配当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)※1を参照すること。なお、英語の実践的運用能力向上のため、英語科目の履修を強く勧める。
2. 上記1とは別に、学科が指定する言語（ドイツ語以外）の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記1で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)※1を参照すること。

※1 履修要覧〔学部科目編〕－語学科目－語学科目履修上の注意 参照

◎海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、ドイツ語学科学生が参加できる研修は以下の6種類である。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず各プログラムの開講元の開講科目担当表を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにMy Sophia（グローバル教育センター）に掲載される詳細情報を参照すること。

- ・ STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON) / 開講元：英語学科
- ・ STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY) / 開講元：英語学科
- ・ 海外短期研修（トリア大学） / 開講元：ドイツ語学科
- ・ 海外短期研修（パリ政治学院） / 開講元：フランス語学科
- ・ 海外短期研修（教皇立ハベリアナ大学） / 開講元：スペイン語学科
- ・ 海外短期研修（デウスト大学） / 開講元：スペイン語学科

◎年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

❗ 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

❗ (注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

4. 開講科目担当表

開講科目担当表 [ドイツ語学科]
 学科科目【第一主専攻必修科目】注1

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	530611	GMN101-52400	基礎ドイツ語I a-1	2	春	浅見 昇吾	1			
	530616	GMN103-52400	基礎ドイツ語I a-2	2	秋	浅見 昇吾	1			
	530612	GMN102-52g00	基礎ドイツ語I b-1	4	春	*AMADA-KLOTZ Daniel 佐藤 友紀子 *PFEIFER Matthias 木村 護郎 *クリストフ	1		aクラス aクラス aクラス bクラス bクラス bクラス cクラス cクラス cクラス	
	530617	GMN104-52g00	基礎ドイツ語I b-2	4	秋	*AMADA-KLOTZ Daniel 佐藤 友紀子 *BALMUS Petra *PFEIFER Matthias SATO-PRINZ Manuela TATEISHI Daniela *STEGER Christian 佐藤 友紀子 LIPSKY Angela SATO-PRINZ Manuela TATEISHI Daniela	1		aクラス aクラス aクラス aクラス bクラス bクラス bクラス cクラス cクラス cクラス	
	530721	GMN201-52400	基礎ドイツ語II a-1	2	春	高橋 亮介	2			
	530726	GMN202-52400	基礎ドイツ語II a-2	2	秋	高橋 亮介	2			
	530732	GMN205-52g00	基礎ドイツ語II a-2 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3	
	530730	GMN203-52g00	基礎ドイツ語II b-1	6	春	LIPSKY Angela SATO-PRINZ Manuela *STEGER Christian TATEISHI Daniela *PFEIFER Matthias 佐藤 友紀子 佐藤 友紀子 LIPSKY Angela TATEISHI Daniela *CONSTANTINESCU Cezar *HENSEL Stephan 河崎 健 TATEISHI Daniela 佐藤 友紀子 *BALMUS Petra *BALMUS Petra SATO-PRINZ Manuela *PFEIFER Matthias	2		aクラス aクラス aクラス aクラス aクラス bクラス bクラス bクラス bクラス bクラス cクラス cクラス cクラス	
	530731	GMN204-52g00	基礎ドイツ語II b-2	2	秋	河崎 健 SATO-PRINZ Manuela	2			
	530733	GMN206-52g00	基礎ドイツ語II b-2 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3	
	【ドイツ語圏基礎科目】									
		532025	AEI101-52400	ドイツ語圏研究A	2	春	河崎 健	1		輪講
		532026	AEI102-52400	ドイツ語圏研究B	2	秋	佐藤 友紀子	2		輪講
		532027	AEI103-52400	ドイツ語圏研究C	2	春	佐藤 友紀子	2		輪講
		532028	AEI104-52400	ドイツ語圏研究D	2	秋	高橋 亮介	2		輪講
		532029	AEI105-52g00	ドイツ語圏研究D (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3

学科科目【第一主専攻選択科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	専門読解準備コース									
		532130	AEI301-52400	(重) 言語A1-A	1	1Q	高橋 亮介	3・4		
		532131	AEI302-52400	(重) 言語A1-B	1	2Q	高橋 亮介	3・4		
		532132	AEI303-52400	(重) 言語A2-A	1	3Q	高橋 亮介	3・4		
		532133	AEI304-52400	(重) 言語A2-B	1	4Q	高橋 亮介	3・4		
		532134	AEI305-52400	(重) 言語B1-A	1	休講	高橋 亮介	3・4		
		532135	AEI306-52400	(重) 言語B1-B	1	休講	高橋 亮介	3・4		
		532136	AEI307-52400	(重) 言語B2-A	1	休講	高橋 亮介	3・4		
		532137	AEI308-52400	(重) 言語B2-B	1	休講	高橋 亮介	3・4		
		532140	AEI309-52400	(重) 思想・文化A1-A	1	1Q	浅見 昇吾	3・4		
		532141	AEI310-52400	(重) 思想・文化A1-B	1	2Q	浅見 昇吾	3・4		
		532142	AEI311-52400	(重) 思想・文化A2-A	1	3Q	浅見 昇吾	3・4		
		532143	AEI312-52400	(重) 思想・文化A2-B	1	4Q	浅見 昇吾	3・4		
		532144	AEI313-52400	(重) 思想・文化B1-A	1	休講	浅見 昇吾	3・4		
		532145	AEI314-52400	(重) 思想・文化B1-B	1	休講	浅見 昇吾	3・4		
		532146	AEI315-52400	(重) 思想・文化B2-A	1	休講	浅見 昇吾	3・4		
		532147	AEI316-52400	(重) 思想・文化B2-B	1	休講	浅見 昇吾	3・4		
		532150	AEI317-52400	(重) 政治・社会A1-A	1	1Q	河崎 健	3・4		
		532151	AEI318-52400	(重) 政治・社会A1-B	1	2Q	河崎 健	3・4		
		532152	AEI319-52400	(重) 政治・社会A2-A	1	3Q	河崎 健	3・4		
		532153	AEI320-52400	(重) 政治・社会A2-B	1	4Q	河崎 健	3・4		
		532154	AEI321-52400	(重) 政治・社会B1-A	1	休講	河崎 健	3・4		
		532155	AEI322-52400	(重) 政治・社会B1-B	1	休講	河崎 健	3・4		
		532156	AEI323-52400	(重) 政治・社会B2-A	1	休講	河崎 健	3・4		
		532157	AEI324-52400	(重) 政治・社会B2-B	1	休講	河崎 健	3・4		
	【ドイツ語Ⅲ】注1									
		532078	GMN406-52g00	(重) 表現A-1	1	春	*オプヒュルス南島 ライノルト	3・4	○	
		532079	GMN407-52g00	(重) 表現A-2	1	秋	*オプヒュルス南島 ライノルト	3・4	○	
		532080	GMN408-52g00	(重) 表現B-1	1	春	*BALMUS Petra	3・4	○	
		532081	GMN409-52g00	(重) 表現B-2	1	秋	SATO-PRINZ Manuela	3・4	○	
		532082	GMN410-52g00	表現 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3
		532036	GMN401-52g00	(重) 聴解A-1	1	春	LIPSKY Angela	3・4	○	
		532037	GMN402-52g00	(重) 聴解A-2	1	秋	TATEISHI Daniela	3・4	○	
	532038	GMN403-52g00	(重) 聴解B-1	1	春	*CONSTANTINESCU Cezar	3・4	○		
	532039	GMN404-52g00	(重) 聴解B-2	1	秋	*CONSTANTINESCU Cezar	3・4	○		
	532077	GMN405-52g00	聴解 (在外履修)	2	秋	ドイツ語学科教員	2	○	注3	

学科学目〔その他〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目 教職科目	教職科目									
	538912	LG6201-52J00	ドイツ語科教育法A-1	2	春	高橋 亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語科教育法Ⅰ」と合併、注2	
	538913	LG6202-52J00	ドイツ語科教育法A-2	2	秋	高橋 亮介	2~4		ドイツ文学科「ドイツ語科教育法Ⅱ」と合併、注2	
	538914	LG6203-52g00	(隔) ドイツ語科教育法B	2	休講	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語科教育法Ⅲ」と合併、注2	
	538915	LG6204-52g00	(隔) ドイツ語科教育法C	2	秋	LIPSKY Angela	2~4	○	ドイツ文学科「ドイツ語科教育法Ⅳ」と合併、注2	

注1 ドイツ語学科生のみ履修可（「ドイツ語圏研究A」、「同B」、「同C」、「同D」を除く）
 注2 言語研究コースとのクロスリスティング科目である。
 注3 在外履修へ参加の学生のみが履修する科目である。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目		SAC307-52g00	海外短期研修（トリア大学）	2	春	ドイツ語学科教員	3・4	○	注1、2、3、4

注1 本研修を履修できるのは、ドイツ語学科生に限られる。
 注2 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。
 なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。
 注3 上記科目は、学科第一主専攻選択科目「ドイツ語Ⅲ」に算入することができる。
 注4 評価はP（合格）・X（不合格）を使用する。

フランス語学科

フランス語学科

📄 フランス語学科について

📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📄 2. 標準配当表

📄 3. 履修上の注意

📄 4. 開講科目担当表

フランス語学科について

〔教育研究上の目的〕

フランス語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、フランス語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

フランス語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）におけるB2相当（海外の大学で学べるレベル）に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同C1相当（海外の大学院で学べるレベル）に到達することを目標とする。

1. フランス語の「聴く」「読む」に代表される受容的言語活動（receptive activities）に関する能力
2. フランス語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動（productive activities）に関する能力
3. フランス語の会話や交渉に代表される相互行為活動（interactive activities）に関する能力
4. フランス語の通訳・翻訳などに代表される仲介活動（mediating activities）に関する能力
5. フランス語圏の歴史・文化・政治・社会について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目（基礎フランス語I・II）】1・2年次を通して、「聞く、話す、読む、書く」の4技能にわたって、フランス語の基礎的運用能力の修得を目指す。授業では、複数の教員（日本人およびネイティブ）でチーム・ティーチングを行い、講義、グループワーク、ペアワーク、プレゼンテーションなど授業の目的に合わせて展開されるが、学生の授業への積極的な参画とともに、毎日の予習・復習を含む計画的な学習が求められる。
2. 【第一主専攻・必修科目（総合フランス語）】1・2年次で修得したフランス語の基礎学力を用いて、3年次対象の聴解・表現・講読演習では実践的に語学力を運用する高度なスキルを学ぶこと、4年次対象の総合演習では総合的なフランス語運用能力を応用的に身につけさせることを目指す。授業はグループワークやプレゼンテーションなどを中心に多角的に展開される。
3. 【第一主専攻・語圏基礎科目】1・2年次において、フランス語圏の国々や地域における歴史・政治・経済・社会・文化・言語など、フランス語を基盤として今後フランス語圏について学んでいくための基礎的教養を身につけることを目指す。また、レポートやプレゼンテーションなどの大学での学びにおいて不可欠なアカデミック・スキルズの基礎を修得させる。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降

全学共通科目			合計	
必修	8単位	[キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	6単位	[キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]		
選択	12単位			
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
合計	4単位

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	40単位（必修科目32単位、選択科目8単位）
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	54単位
合計	94単位

17～21年次生

全学共通科目			合計	
必修	2単位	[ウエルネスと身体]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]		
選択	20単位（高学年向け教養科目2単位含む）			
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
----	-----

合計	4単位
----	-----

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	40単位 (必修科目32単位、選択科目8単位)
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	54単位
合計	94単位

2. 標準配当表

[フランス語学科] 標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリベラルアーツ	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
	課題・視座・立場性を考える	2						
	選択必修 (6単位)		キリスト教人間学	2				
	選択 (12単位)				高学年向け科目			4
			※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される					

○ 語学科目

語学科目 必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一主専攻 (32単位)	必修 (32単位)	基礎フランス語Ⅰ-1	6	基礎フランス語Ⅱ-1	6			
		基礎フランス語Ⅰ-2	6	基礎フランス語Ⅱ-2	6			
フランス語圏研究A		2	フランス語圏研究C	2				
フランス語圏研究B		2	フランス語圏研究D	2				
	選択 (8単位)					[総合フランス語科目]の「表現演習Ⅲ」、「聴解演習Ⅲ」、「講読演習Ⅲ」の科目から6科目6単位、「総合演習Ⅳ」から2科目2単位を履修すること		8
第二主専攻または副専攻 (94単位)	第二主専攻として履修する場合							
							導入科目	6
							コア科目	20
							演習科目	4
							卒業論文・卒業研究	6
							副専攻として履修する場合	
						導入科目	6	
						コア科目	10	
その他(注2)	選択 (18または38単位)		①第一主専攻(フランス語)選択科目、②全ての研究コース開講科目、③課程科目(実習を除く)、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑤語学科目(フランス語を除く上限8単位)、⑥全学共通科目「データサイエンス(200番台~400番台)・「視座(200番台~400番台)」カテゴリー(合わせて上限4単位)で充当する。					18 / 38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧[学部科目編]-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

[フランス語学科] 標準配当表

18~21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

語学科目 (4単位)	必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一主専攻	必修 (32単位)	基礎フランス語 I-1 基礎フランス語 I-2 フランス語圏研究 A フランス語圏研究 B	6 6 2 2	基礎フランス語 II-1 基礎フランス語 II-2 フランス語圏研究 C フランス語圏研究 D	6 6 2 2			
	選択 (8単位)					[総合フランス語科目]の「表現演習Ⅲ」、「聴解演習Ⅲ」、「講読演習Ⅲ」の科目から6科目6単位、「総合演習Ⅳ」から2科目2単位を履修すること	8	
第二主専攻または副専攻	第二主専攻として履修する場合							
							導入科目	6
							コア科目	20
							演習科目	4
副専攻として履修する場合								
							卒業論文・卒業研究	6
その他 (注2)	選択 (16単位)						導入科目	6
	選択 (18または38単位)						コア科目	10
							①第一主専攻(フランス語)選択科目、②全ての研究コース開講科目、③課程科目(実習を除く)、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑤語学科目(フランス語を除く上限8単位)で充当する。	18 / 38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。
注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

[フランス語学科] 標準配当表

17年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

語学科目 必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2	
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2	

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
第一主専攻 必修 (32単位) 選択 (4単位)	基礎フランス語 I-1	6	基礎フランス語 II-1	6				
	基礎フランス語 I-2	6	基礎フランス語 II-2	6				
	フランス語圏研究 A	2	フランス語圏研究 C	2				
	フランス語圏研究 B	2	フランス語圏研究 D	2				
					【総合フランス語科目】の「表現演習Ⅲ」、「聴解演習Ⅲ」、「講読演習Ⅲ」の科目から6科目6単位、「総合演習Ⅳ」から2科目2単位を履修すること		8	
第二主専攻として履修する場合								
第二主専攻または副専攻 (どちらかを選択) 必修 (36単位) ※単位 選択 (40単位) ※単位	導入科目							6
	コア科目							20
	演習科目							4(8) ※
	卒業論文・卒業研究							6
副専攻として履修する場合								
選択 (16単位)	導入科目							6
	コア科目							10
その他 (注2) 選択 (18単位) ※単位	①第一主専攻(フランス語)選択科目、②全ての研究コース開講科目、③課程科目(実習を除く)、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑤語学科目(フランス語を除く上限8単位)で充当する。							18 (14) ※ / 38

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意を参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

※第二主専攻としてアジア研究コース、中東・アフリカ研究コース、国際政治論研究コース、市民社会・国際協力論研究コースを選択した学生は、その研究コースで演習科目を4科目8単位履修しなければならない。詳細は各々の研究コースの履修上の注意を熟読すること。

3.履修上の注意

- ・「外国語学部について」（履修要覧[学部科目編]—外国語学部—外国語学部について）と合わせて読むこと。
- ・科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」に解説があるので参照すること。
- ・学則40条には、「連続する2か年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する」とある。したがって、
 - 1) 連続する2か年で32単位を修得できなかった場合は、退学となる。
 - 2) 学科が各年次で指定する下記科目のうち、同一科目を連続する2か年において修得できなかった場合は、退学となる。
1年次：「基礎フランス語Ⅰ-1」、「基礎フランス語Ⅰ-2」
2年次：「基礎フランス語Ⅱ-1」、「基礎フランス語Ⅱ-2」ただし、「基礎フランス語Ⅰ-2」、「基礎フランス語Ⅱ-2」について、履修の前提となる科目を修得できなかったために履修できなかった年度は、連続する2か年には計上しない。なお、「連続する2か年」の定義は履修要覧〔ガイド・資料編〕—Ⅱ.教務—8.単位修得不足者の扱い（学則第40条）を確認すること。

①第一専攻必修科目について

1. 「基礎フランス語Ⅰ-1」を修得していない場合は、「基礎フランス語Ⅰ-2」を履修することはできない。
2. 「基礎フランス語Ⅰ-2」を修得していない場合は、「基礎フランス語Ⅱ-1」を履修することはできない。
3. 「基礎フランス語Ⅱ-1」を修得していない場合は、「基礎フランス語Ⅱ-2」を履修することはできない。
4. フランス語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。
5. 「基礎フランス語」の履修者を「文法」と「コミュニケーション」でグループ分けする。グループ分け指導は学期の最初に学科で行うので、それに従って履修登録を行うこと。
6. 「基礎フランス語Ⅱ」の履修者を「専門研究へのフランス語」と「コミュニケーション」でグループ分けする。グループ分け指導は前年度末の在校生学科別ガイダンスで行うので、必ず出席し、それに従って履修登録を行うこと。
7. 「フランス語圏基礎科目」として開講される「フランス語圏研究A～D」は指定された年次に履修すること。

②第一専攻選択科目の「総合フランス語科目」について

1. 「基礎フランス語Ⅱ-2」を修得していなければ、総合フランス語科目を履修することはできない。
2. 総合フランス語科目は原則として3年次に「表現演習Ⅲ」、「聴解演習Ⅲ」、「講読演習Ⅲ」の各科目から2科目2単位ずつ（6科目6単位）、4年次に「総合演習Ⅳ」の科目から2科目2単位の計8科目8単位を履修すること。
3. 登録手続きに際して、3年次生、4年次生ともに前年度末の在校生学科別ガイダンスで、クラス分けなどより具体的な履修指導をするので、必ず出席し、それに沿って履修登録をすること。

③第二専攻、副専攻科目の履修について

1. 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
2. 第二専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページ、ならびに『外国語学部ホームページ／研究コース紹介』を熟読すること。

④「学科科目：その他」について

1. 第二専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。

2. 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の履修要覧やシラバスを参照したうえで、他学科生の履修可否について担当教員の確認を必要とする。

⑤時間割について

「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「フランス語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥専攻語（フランス語）以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってフランス語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語（フランス語）以外の言語、特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

1. 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し、標準配当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)*1を参照すること。なお、英語の実践的運用能力向上のため、英語科目の履修を強く勧める。
2. 上記1とは別に、学科が指定する言語（フランス語以外）の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記1で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)*1を参照すること。
*1 履修要覧【学部科目編】一語学科目一語学科目履修上の注意 参照

⑦海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、フランス語学科学生が参加できる研修は以下の5種類である。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず各プログラムの開講元の開講科目担当表を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにMy Sophia（グローバル教育センター）に掲載される詳細情報を参照すること。

- STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON) / 開講元：英語学科
- STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY) / 開講元：英語学科
- 海外短期研修（パリ政治学院） / 開講元：フランス語学科
- 海外短期研修（教皇立ハベリアナ大学） / 開講元：イスパニア語学科
- 海外短期研修（デウスト大学） / 開講元：イスパニア語学科

⑧年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

❗ 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

❗ (注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

4. 開講科目担当表

開講科目担当表 【フランス語学科】
 学科科目【第一専攻必修科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	【基礎フランス語科目】 注1								
	540410	FRN101-53a00	基礎フランス語 I-1	6	春	高橋 純生 *CARIO Vincent 原田 早苗 *BIELEKA Julien	1		コミュニケーション Aグループ
						高橋 純生 *BIELEKA Julien 小島 真智子 *BIELEKA Julien 原田 早苗 高橋 純生 *CARIO Vincent 原田 早苗 *BIELEKA Julien TUCHAIS Simon			コミュニケーション Bグループ
						高橋 純生 *CARIO Vincent 原田 早苗 *BIELEKA Julien TUCHAIS Simon			コミュニケーション Cグループ
						岩崎 えり奈 TUCHAIS Simon 岩崎 えり奈			文法Xグループ
						岩崎 えり奈			文法Yグループ
	540420	FRN102-53a00	基礎フランス語 I-2	6	秋	高橋 純生 *CARIO Vincent 原田 早苗 *BIELEKA Julien	1		コミュニケーション Aグループ
						高橋 純生 小島 真智子 *BIELEKA Julien 原田 早苗 高橋 純生 *CARIO Vincent 原田 早苗 *BIELEKA Julien			コミュニケーション Bグループ
						高橋 純生 *CARIO Vincent 原田 早苗 *BIELEKA Julien TUCHAIS Simon			コミュニケーション Cグループ
						岩崎 えり奈 TUCHAIS Simon 岩崎 えり奈			文法Xグループ
						岩崎 えり奈			文法Yグループ
	540510	FRN201-53a00	基礎フランス語 II-1	6	春	*塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *田代 雅幸 MONFORT Brieuc *田代 雅幸 牧 陽子	2		コミュニケーション Aグループ
					*塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *田代 雅幸 MONFORT Brieuc			コミュニケーション Bグループ	
					*塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *田代 雅幸 MONFORT Brieuc			コミュニケーション Cグループ	
					*田代 雅幸 MONFORT Brieuc			専門研究へのフランス語 Xグループ	
					*田代 雅幸 MONFORT Brieuc			専門研究へのフランス語 Yグループ	
540520	FRN202-53a00	基礎フランス語 II-2	6	秋	*塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *田代 雅幸 MONFORT Brieuc *田代 雅幸 牧 陽子 小島 真智子 *田代 雅幸 MONFORT Brieuc *CHEDDADI Anil	2		コミュニケーション Aグループ	
					*塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *田代 雅幸 MONFORT Brieuc			コミュニケーション Bグループ	
					*塩田 明子 *MEHRENBARGER 慎紀 COUCHOT Hervé *田代 雅幸 MONFORT Brieuc			コミュニケーション Cグループ	
					*田代 雅幸 MONFORT Brieuc			専門研究へのフランス語 Xグループ	
					*田代 雅幸 MONFORT Brieuc			専門研究へのフランス語 Yグループ	
【フランス語圏基礎科目】 注1									
	540630	ARS101-53a00	フランス語圏研究A (歴史と文化)	2	春	高橋 純生	1		
	540640	ARS102-53a00	フランス語圏研究B (政治と宗教)	2	秋	小島 真智子	1		
	547868	ARS103-53a00	フランス語圏研究C (社会と経済)	2	春	牧 陽子	2		注2
	547869	ARS104-53a00	フランス語圏研究D (総論)	2	秋	高橋 純生	2		輪講、注2

注1: フランス語学科生のみ履修可
 注2: フランス語学科2年次生以上のみ履修可

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
【既習者用科目】 ※学科から指定を受けた学生のみ履修可									
	542507	FRN319-53a00	(他) 既習者用フランス語 A-1	1	春	MONFORT Brieuc	1~4		既習者のみ履修可
	542508	FRN320-53a00	(他) 既習者用フランス語 A-2	1	秋	MONFORT Brieuc	1~4		既習者のみ履修可
	542509	FRN321-53a00	(他) 既習者用フランス語 B-1	1	春	COUCHOT Hervé	1~4		既習者のみ履修可
	542510	FRN322-53a00	(他) 既習者用フランス語 B-2	1	秋	COUCHOT Hervé	1~4		既習者のみ履修可
	240607	FRN321-18a00	(他) 既習者用フランス語 C-1	1			1~4		(他) フランス文字科、既習者のみ履修可
	240608	FRN322-18a00	(他) 既習者用フランス語 C-2	1			1~4		(他) フランス文字科、既習者のみ履修可

学科科目【第一専攻選択科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	【総合フランス語科目】 注1								
	542425	FRN301-53a00	(他) 表現演習Ⅲ A-1	1	春	*LELONG Stephane	3		
	542426	FRN302-53a00	(他) 表現演習Ⅲ A-2	1	秋	*LELONG Stephane	3		
	542427	FRN303-53a00	(他) 表現演習Ⅲ B-1	1	春	*BIZET Francois	3		
	542428	FRN304-53a00	(他) 表現演習Ⅲ B-2	1	秋	*BIZET Francois	3		
	542429	FRN305-53a00	(他) 表現演習Ⅲ C-1	1	春	*BIZET Francois	3		
	542430	FRN306-53a00	(他) 表現演習Ⅲ C-2	1	秋	*BIZET Francois	3		
	542431	FRN307-53a00	(他) 聴解演習Ⅲ A-1	1	春	*BUREAU Xavier	3		
	542432	FRN308-53a00	(他) 聴解演習Ⅲ A-2	1	秋	*BUREAU Xavier	3		
	542433	FRN309-53a00	(他) 聴解演習Ⅲ B-1	1	春	牧 陽子	3		
	542434	FRN310-53a00	(他) 聴解演習Ⅲ B-2	1	秋	*BUREAU Xavier	3		
	542435	FRN311-53a00	(他) 聴解演習Ⅲ C-1	1	春	*BUREAU Xavier	3		
	542436	FRN312-53a00	(他) 聴解演習Ⅲ C-2	1	秋	牧 陽子	3		
	542437	FRN313-53a00	(他) 講義演習Ⅲ A-1	1	春	牧 陽子	3		
	542438	FRN314-53a00	(他) 講義演習Ⅲ A-2	1	秋	牧 陽子	3		
	542439	FRN315-53a00	(他) 講義演習Ⅲ B-1	1	春	小島 真智子	3		
	542440	FRN316-53a00	(他) 講義演習Ⅲ B-2	1	秋	小島 真智子	3		
	542441	FRN317-53a00	(他) 講義演習Ⅲ C-1	1	春	牧 陽子	3		
	542442	FRN318-53a00	(他) 講義演習Ⅲ C-2	1	秋	岩崎 えり奈	3		

選 択 科 目 ラ ン ス	講義	542452	FRN402-53a00	(重)	総合演習Ⅳ A-1	1	春	*BIZET Francois	4		
	総合	542453	FRN403-53a00	(重)	総合演習Ⅳ A-2	1	秋	*BIZET Francois	4		
	目	542454	FRN404-53a00	(重)	総合演習Ⅳ B-1	1	春	*LELONG Stephane	4		
	ラ	542455	FRN405-53a00	(重)	総合演習Ⅳ B-2	1	秋	*LELONG Stephane	4		
	ン	542456	FRN406-53a00	(重)	総合演習Ⅳ C-1	1	春	CRUCHET Herse	4		
	ス	542451	FRN401-53a00	(重)	特別演習S S-1	1	春	TUCHAIS Simon	4		
		542458	FRN408-53100	(重)	特別演習S S-2	1	秋	MONFORT Brieuc	4	○	

注1: 原則として他学部・他学科生は履修不可だが、人数に余裕がある場合に限ってフランス文学科3・4年次生も履修することができる。

学科科目[その他]

履修 度	科目 コード	ナンバ リング	授業 科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考	
選 択 科 目	教職科目									
		547342	TCP201-53a00	フランス語科教育法A	2	春	*高瀬 碧子	2~4		注1
		547343	TCP301-53a00	フランス語科教育法B	2	春	原田 早苗	2~4		注1
		547344	TCP302-53a00	(隔) フランス語科教育法C	2	秋	*高瀬 碧子	2~4		注1
		547345	TCP303-53a00	フランス語科教育法D	2	秋	原田 早苗	2~4		注1

注1: 言語研究コースとのクロスリスティング科目

海外短期研修科目

履修 度	科目 コード	ナンバ リング	授業 科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選 択 科 目	N99201	SAC109-53a00	海外短期研修 (パリ政治学院)	4	秋	フランス語学科教員	1~4	○	注1、2、3、4、5、6

注1: 付与される単位は、「全学共通科目(選択科目)」もしくは「学科科目・その他」に充当する。
 注2: 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。
 なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。
 注3: 2025年3月卒業予定者は、単位付与が翌年度に行われるため、プログラムには参加可能だが、単位は認められない。
 注4: 本研修は全て英語のプログラムである。
 注5: 短期研修に係る参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。
 注6: 評価はP(合格)・X(不合格)を使用する。

イスパニア語学科

イスパニア語学科

📄 イスパニア語学科について

📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📄 2. 標準配当表

📄 3. 履修上の注意

📄 4. 開講科目担当表

イスパニア語学科について

〔教育研究上の目的〕

イスパニア語の高度な運用能力を養い、地域研究、言語研究等の専門研究の基礎となる幅広い教養（人文・社会科学、イスパニア語圏に関する基礎知識）を修得すること

〔人材養成の目的〕

イスパニア語の高度な運用能力を基礎として、グローバル化する社会に貢献しうる人物、並びに地域研究、言語研究等の専門家を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

卒業時において全員がヨーロッパ言語参照枠（CEFR）におけるB2相当（海外の大学で学べるレベル）に到達し、それに加えてできるだけ多くの者が同C1相当（海外の大学院で学べるレベル）に到達することを目標とします。

1. イスパニア語の「聞く」「読む」に代表される受容的言語活動（receptive activities）に関する能力
2. イスパニア語の「話す」「書く」に代表される産出的言語活動（productive activities）に関する能力
3. イスパニア語の会話や交渉に代表される相互行為活動（interactive activities）に関する能力
4. イスパニア語の通訳・翻訳などに代表される仲介活動（mediating activities）に関する能力
5. イスパニア語圏の歴史・政治・経済・社会・文化・文学・言語について、世界での位置づけや特徴および日本との関係や比較を踏まえて理解する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 【第一主専攻・必修科目（基礎イスパニア語I、II）】1年次、2年次を通してイスパニア語の4技能「聞く、読む、話す、書く」の基礎を学ぶ。「読む」「書く」能力の養成を中心とした、文法、講読、作文の講義・演習形式の授業と、「聞く」「話す」力を身につけさせることに主眼を置いた口頭での実践的練習に重きを置いた授業を通して、イスパニア語の運用能力の土台を作る。ネイティブスピーカーの教員と日本人教員とが協働してあたるため、初修言語修得に効率的な学習が可能である。学生はいずれの授業においても、能動的な授業参画が前提であり、授業中および授業外における主体的な学習が求められる。
2. 【第一主専攻・必修科目（総合イスパニア語）】3・4年次では、「話す・聞く」「読む」「読む・話す」「書く」「読む・書く」といったスキル別に各自が強化したい分野を選択して履修し、イスパニア語の運用能力をさらに高める。1・2年次で修得したイスパニア語の基礎的能力を用いて、さらに実践的かつ応用的なイスパニア語の運用能力を身につけさせる。授業は実践的な教材を用いた講義形式の読解や、視聴覚教室を活用した聴解能力を高める聞き取りや書き取り、グループでのコミュニケーションやプレゼンテーション、ディベートなど、多様な形式で行われる。ネイティブスピーカーの教員の授業における使用言語はイスパニア語が中心であり、学術的内容をイスパニア語で学習させる。日本人教員の授業では、より高度な内容の文献講読などを通して、上級文法への目配りや語彙力の強化にも重きが置かれる。

3. 【第一主専攻・語圏基礎科目】主に1・2年次において、イスパニア語が使用される国や地域（＝イスパニア語圏）における歴史・政治・経済・社会・文化・文学・言語に関わる基礎的な知識の修得をめざす。授業形式は講義が中心であるが、グループワークやプレゼンテーションなども実施される。また本科目群に含まれる「イスパニア語圏研究入門」では、文献検索やレポート作成などの基礎的リテラシーを身につけさせる。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降

全学共通科目			合計	
必修	8単位	[キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	6単位	[キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]		
選択	12単位			
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
合計	4単位

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	40単位（必修科目32単位、選択科目8単位）
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	54単位
合計	94単位

19～21年次生

全学共通科目			合計	
必修	2単位	[ウエルネスと身体]	合計（全学共通科目+語学科目+学科科目）	124単位
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]		
選択	20単位（高学年向け教養科目2単位含む）			
合計	26単位			

語学科目

必修	4単位
----	-----

合計	4単位
----	-----

学科科目

第一主専攻(専攻語)科目	40単位 (必修科目32単位、選択科目8単位)
第二主専攻(または副専攻)科目・その他	54単位
合計	94単位

2. 標準配当表

【スペイン語学科】標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリハビリアート	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
課題・視座・立場性を考える		2						
選択必修 (6単位)			キリスト教人間学	2				
選択 (12単位)					高学年向け科目		4	
			※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される					

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2						
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
第一専攻 (32単位)	必修 (8単位)	基礎イスパニア語ⅠA-1	4	基礎イスパニア語ⅡA-1	4					
		基礎イスパニア語ⅠB-1	2	基礎イスパニア語ⅡB-1	2					
		基礎イスパニア語ⅠA-2	4	基礎イスパニア語ⅡA-2	4					
		基礎イスパニア語ⅠB-2	2	基礎イスパニア語ⅡB-2	2					
		イスパニア語圏研究入門	2	西概史	2					
		西米概史	2	西・西米文学史	2					
	選択 (8単位)						「総合イスパニア語科目」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること	8		
	第二専攻(どちらかを選択) (36単位)	第二主専攻として履修する場合								
		導入科目								6
		コア科目								20
演習科目								4		
卒業論文・卒業研究								6		
副専攻として履修する場合 (16単位)	導入科目								6	
	コア科目								10	
その他(注2) (18または38単位)	①第一主専攻(イスパニア語)選択科目、②全ての研究コース開講科目、③課程科目(実習を除く)、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑤語学科目(イスパニア語を除く。上限8単位)、⑥DELE(外国語としてのスペイン語検定試験)(上限2単位・注3)、⑦グローバルインターンシップ(長期)[派遣先: 管利三菱商事会社]、⑧全学共通科目「データサイエンス(200番台~400番台)」・「視座(200番台~400番台)」カテゴリー(合わせて上限4単位)で充当する。								18 / 38	

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意 参照。

注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。

注3 2023年度以前の単位認定分まで。2024年度よりDELEの取扱いが変更となった。詳細は、履修要覧【学部科目編】-イスパニア語学科-履修上の注意②(3)を参照。

[イスパニア語学科] 標準配当表

19～21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(2単位) 必修	ウエルネスと身体	2					
	(4単位) 選択必修	キリスト教人間学	4					
	(20単位) 選択	※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位) 必修	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2						
	ACADEMIC COMMUNICATION 2	2						

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	第一主専攻 (32単位) 必修	基礎イスパニア語 I A-1	4	基礎イスパニア語 II A-1	4					
		基礎イスパニア語 I B-1	2	基礎イスパニア語 II B-1	2					
		基礎イスパニア語 I A-2	4	基礎イスパニア語 II A-2	4					
		基礎イスパニア語 I B-2	2	基礎イスパニア語 II B-2	2					
		イスパニア語圏研究入門	2	西概史	2					
		西米概史	2	西・西米文学史	2					
								「総合イスパニア語科目」から8単位修得すること。ただし、うち2単位は4年次に履修すること	8	
	第二主専攻 (どちらかを選択) (36単位) 選択	第二主専攻として履修する場合								
		導入科目								6
		コア科目								20
副専攻として履修する場合 (16単位) 選択	演習科目								4	
	卒業論文・卒業研究								6	
	導入科目								6	
その他(注2) (18または38単位) 選択	コア科目								10	
	①第一主専攻(イスパニア語)選択科目、②全ての研究コース開講科目、③課程科目(実習を除く)、④外国語学部以外の学部・学科が開講する科目、⑤語学科目(イスパニア語を除く。上限8単位)、⑥DELE(外国語としてのスペイン語検定試験)(上限2単位・注3)、⑦グローバルインターンシップ(長期)【派遣先: 智利三菱商事会社】で充当する。								18 / 38	

注1 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、履修要覧【学部科目編】-語学科目-語学科目履修上の注意 参照。
 注2 「その他」の単位数は、研究コースを第二主専攻として履修した場合には18単位、副専攻として履修した場合には38単位となる。
 注3 2023年度以前の単位認定分まで。2024年度よりDELEの取扱いが変更となった。詳細は、履修要覧【学部科目編】-イスパニア語学科-履修上の注意②(3)を参照。

3. 履修上の注意

- ・「外国語学部について」（履修要覧[学部科目編]—外国語学部—外国語学部について）と合わせて読むこと。
- ・科目に付記されている科目記号の定義については、「外国語学部について」に解説があるので参照すること。
- ・学則40条には、「連続する2か年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する」とある。したがって、
 - 1) 連続する2か年で32単位を修得できなかった場合は、退学となる。
 - 2) 学科が各年次で指定する下記科目のうち、同一科目を連続する2か年において修得できなかった場合は、退学となる。
1年次：「基礎イスパニア語IA-1」、「基礎イスパニア語IA-2」、「基礎イスパニア語IB-1」、「基礎イスパニア語IB-2」
2年次：「基礎イスパニア語IIA-1」、「基礎イスパニア語IIA-2」、「基礎イスパニア語IIB-1」、「基礎イスパニア語IIB-2」ただし、「基礎イスパニア語IA-2」「基礎イスパニア語IB-2」「基礎イスパニア語IIA-2」「基礎イスパニア語IIB-2」について、履修の前提となる科目を修得できなかったために履修できなかった年度は、連続する2か年には計上しない。なお、「連続する2か年」の定義は履修要覧〔ガイド・資料編〕—II.教務—8. 単位修得不足者の扱い（学則第40条）を確認すること。

①第一主専攻必修科目について

1. 「基礎イスパニア語IA-1」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語IA-2」を履修することはできない。また、「基礎イスパニア語IB-1」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語IB-2」を履修することはできない。
2. 「基礎イスパニア語IA-2」および「基礎イスパニア語IB-2」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語IIA-1」および「基礎イスパニア語IIB-1」を履修することはできない。
3. 「基礎イスパニア語IIA-1」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語IIA-2」を履修することはできない。また、「基礎イスパニア語IIB-1」を修得していない場合は、「基礎イスパニア語IIB-2」を履修することはできない。
4. 「基礎イスパニア語IA-1」「基礎イスパニア語IB-1」「基礎イスパニア語IA-2」「基礎イスパニア語IB-2」「基礎イスパニア語IIA-1」「基礎イスパニア語IIB-1」「基礎イスパニア語IIA-2」「基礎イスパニア語IIB-2」の各科目は、履修要覧〔ガイド・資料編〕—II.教務—7. 学力の評価・成績の評価基準にかかわらず、正当な理由なくしてi) 出席率85%未満の場合、または、ii) 試験欠席で評価不能の場合、不合格（評価F）となる。
5. イスパニア語既習者の履修すべき科目については、個別に指導する。
6. 「イスパニア語圏基礎科目」として開講される「イスパニア語圏研究入門」「西米概史」「西概史」「西・西米文学史」は原則として指定された年次に履修すること。ただし「西・西米文学史」はイスパニア語で行われる授業であるため、「基礎イスパニア語IA-2」および「基礎イスパニア語IB-2」を修得した後の履修を推奨する。「基礎イスパニア語IA-2」および「基礎イスパニア語IB-2」を未修得の場合は、履修登録に当たり慎重に検討すること。
7. 選択する研究コースによっては、一部の科目が第一主専攻（イスパニア語）必修科目の「イスパニア語圏基礎科目」と重複している場合がある。イスパニア語学科の学生がこれらの科目を履修する場合、研究コースの「導入科目」や「コア科目」として充当されることはなく、第一主専攻必修科目に充当される。該当する研究コースの履修上の注意を熟読すること。

②第一主専攻選択科目の「総合イスパニア語」について

1. 「基礎イスパニア語IIA-2」および「基礎イスパニア語IIB-2」を修得していない場合は、「総合イスパニア語」を履修することができない。
2. 「総合イスパニア語」で必要とされている単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の選択科目の単位として充当する。
3. 入学後にDELE（外国語としてのスペイン語検定試験）のB1レベル以上に合格した場合、以下に定める要領で「総合イスパニア語」の単位として認定する。
 - 3.1. B2レベル以上に合格した場合：2単位
 - 3.2. B1に合格した場合：1単位
 - 3.3. B1に合格して単位認定を受けた後、B2レベル以上に合格した場合：追加で1単位

3.4. 認定の上限は2単位とする

単位認定には合格証書もしくは合格通知（WEBからダウンロードしプリントアウトしたもの）が必要である。春学期の単位として認定を希望する場合は7月18日までに、秋学期の単位として認定を希望する場合は1月19日までにイスパニア語学科事務室に提出すること。

4. 4年次に履修すべき2単位には、上記3に定めるDELE合格による認定単位を充当することができる。

③第二主専攻、副専攻科目の履修について

1. 外国語学部開設される9つの研究コース*のうち任意の一つを、第二主専攻または副専攻として履修し、それぞれ指定されたかたちで単位を修得しなければならない。
*北米、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、ロシア・ユーラシア、言語、アジア、中東・アフリカ、国際政治論、市民社会・国際協力論の各研究コース
2. 第二主専攻または副専攻の履修については、本要覧「外国語学部について」および自分が選択した研究コースのページを熟読すること。

④「学科科目：その他」について

1. 第二主専攻または副専攻で必要とされる単位数を超えて修得した単位は、「学科科目：その他」の単位として充当される。第二主専攻または副専攻として選択した研究コース以外のコースの開講科目を履修した場合も、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。
2. 外国語学部履修要覧の各学科、各研究コースの開講科目担当表に掲載されていない他学部開講の科目を履修することができ、修得した単位は「学科科目：その他」の単位として充当される。なおこの場合は、その科目の履修要覧やシラバスを参照したうえで、他学科生の履修可否について担当教員の確認を必要とする。

⑤時間割について

以下の「開講科目担当表」に掲載されている科目の開講曜日・時限については、Loyolaの「イスパニア語学科」の時間割を参照し、そこに記載されている登録コードで履修登録すること。

⑥専攻語（イスパニア語）以外の語学科目の履修について

標準配当表「語学科目」の英語科目「ACADEMIC COMMUNICATION 1」「同 2」は必修科目である。なお、外国語学部は教育指針として複言語主義を掲げている。したがってイスパニア語学科では、以下のガイドラインに沿って、専攻語（イスパニア語）以外の言語、特に英語の実践的な運用能力の修得を推奨する。

1. 専攻語を除く任意の言語を選んで履修し、標準配当表「全学共通科目」のうち8単位まで選択科目として充当することができる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)*1を参照すること。なお、英語の実践的運用能力向上のため、英語科目の履修を強く勧める。
2. 上記1とは別に、学科が指定する言語（イスパニア語以外）の中から、自身の研究計画その他の目的に応じて自由に選んで履修し、「学科科目：その他」に8単位まで充当することができる。上記1で選択したものと同一の言語を選ぶこともできる。履修できる科目は学科別履修指定言語(選択)*1を参照すること。
*1 履修要覧 [学部科目編] 一語学科目一語学科目履修上の注意 参照

⑦海外短期研修科目の履修について

外国語学部開講科目のうち、イスパニア語学科生は以下の研修に参加することができる。多様で充実したプログラムが用意されており、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算することもできるので、積極的な参加を推奨する。なお、研修参加の条件などの詳細は、まず各プログラムの開講元の開講科目担当表を参照した上で、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともにMy Sophia（グローバル教育センター）に掲載される詳細情報を参照すること。なお、「海外短期研修（教皇立ハベリアナ大学）」と「海外短期研修（デウスト大学）」における取得単位は、(1) 3・4年次生でB2レベル以上の科目を履修してきた場合は「総合イスパニア語」、(2) 2年次生の場合または3・4年次生でB1レベル以下の科目を履修してきた場合は「学科科目：その他」の単位としてそれぞれ充当される。

- STUDY ABROAD (SOAS, UNIVERSITY OF LONDON) /開講元：英語学科
- STUDY ABROAD (OXFORD UNIVERSITY) /開講元：英語学科
- 海外短期研修 (パリ政治学院) /開講元：フランス語学科
- 海外短期研修 (教皇立ハベリアナ大学) /開講元：イスパニア語学科
- 海外短期研修 (デウスト大学) /開講元：イスパニア語学科

⑧年間最高履修限度について

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計 (単位)
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

❗ 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

❗ (注) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

4. 開講科目担当表

開講科目担当表 【スペイン語学科】
 学科科目【第一専攻必修科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	【基礎スペイン語科目】注1									
	550513	HSP101-54m00	基礎スペイン語1A-1	4	春	西村 君代 西村 君代 松原 典子 DOÑAS Antonio ALAS MORENO Nancy	1		文法a/hクラス 文法hクラス 文法hクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文bクラス	
	550515	HSP111-54m00	基礎スペイン語1B-1	2	春	DOÑAS Antonio ALAS MORENO Nancy MARTINEZ SIREs Paula MARTINEZ SIREs Paula DOÑAS Antonio *MAGANA Juan José	1	○	会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス 会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス	
	550514	HSP102-54m00	基礎スペイン語1A-2	4	秋	西村 君代 西村 君代 松原 典子 ALAS MORENO Nancy DOÑAS Antonio	1		文法a/hクラス 文法hクラス 文法hクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文bクラス	
	550516	HSP112-54m00	基礎スペイン語1B-2	2	秋	DOÑAS Antonio ALAS MORENO Nancy MARTINEZ SIREs Paula MARTINEZ SIREs Paula DOÑAS Antonio *MAGANA Juan José	1	○	会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス 会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス	
	550641	HSP201-54m00	基礎スペイン語IIA-1	4	春	内村 俊太 谷 洋之 谷 洋之 榎谷 則子 ALAS MORENO Nancy ALAS MORENO Nancy	2		文法・応用a/hクラス 文法・応用aクラス 文法・応用bクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文bクラス	
	550643	HSP211-54m00	基礎スペイン語IIB-1	2	春	MARTINEZ SIREs Paula ALAS MORENO Nancy MARTINEZ SIREs Paula *ALASTRUEY Txabi *ALASTRUEY Txabi *ALASTRUEY Txabi	2	○	会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス 会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス	
	550642	HSP202-54m00	基礎スペイン語IIA-2	4	秋	内村 俊太 谷 洋之 谷 洋之 榎谷 則子 ALAS MORENO Nancy ALAS MORENO Nancy	2		文法・応用a/hクラス 文法・応用aクラス 文法・応用bクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文a/hクラス 講義・作文bクラス	
	550644	HSP212-54m00	基礎スペイン語IIB-2	2	秋	MARTINEZ SIREs Paula ALAS MORENO Nancy MARTINEZ SIREs Paula *ALASTRUEY Txabi *ALASTRUEY Txabi *ALASTRUEY Txabi	2	○	会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス 会話1クラス 会話2クラス 会話3クラス	
	【スペイン語圏基礎科目】									
	550010	HS101-54j00	スペイン語圏研究入門	2	春	コ) 西村 君代	1		輪講 注1	
	552200	HS102-54j00	西米歴史	2	秋	*大塚 樹精	1		注2、注4、注5	
	552100	HS101-54j00	西米史	2	春	内村 俊太	2		注3、注4	
	555809	LI1103-54m00	西・西米文学史	2	秋	DOÑAS Antonio	2	○		

注1 イスパニア語学科生のみ履修可
 注2 ラテンアメリカ研究コース同名科目との合併科目
 注3 ヨーロッパ研究コース同名科目との合併科目
 注4 この科目の開講曜日・時限・登録コードについて、イスパニア語学科生はLoyolaの「イスパニア語学科」の時間割表を、他学科生は各研究コースの時間割表を参照すること。
 注5 外国語学部、総合グローバル学部、史学科生のみ履修可

学科科目【第一専攻選択科目】

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	【総合スペイン語】注1								
	550550	HSP301-54m00	(重) 総合スペイン語A-1	1	春	*PERAL GIGANTE Álvaro	3・4	○	[45名]、作文
	550551	HSP302-54m00	(重) 総合スペイン語A-2	1	秋	*PERAL GIGANTE Álvaro	3・4	○	[45名]、作文
	550552	HSP303-54m00	(重) 総合スペイン語B-1	1	1Q	谷 洋之	3・4		読解
	550553	HSP304-54m00	(重) 総合スペイン語B-2	1	4Q	松原 典子	3・4		読解
	550554	HSP305-54m00	(重) 総合スペイン語C-1	1	春	*MAGANA Juan José	3・4	○	[35名]、口頭表現
	550555	HSP306-54m00	(重) 総合スペイン語C-2	1	秋	*MAGANA Juan José	3・4	○	[35名]、口頭表現
	550556	HSP307-54m00	(重) 総合スペイン語D-1	1	春	*GARCÍA Carmen	3・4	○	[35名]、口頭表現
	550557	HSP308-54m00	(重) 総合スペイン語D-2	1	秋	*GARCÍA Carmen	3・4	○	[35名]、口頭表現
	550558	HSP309-54m00	(重) 総合スペイン語E-1	1	春	DOÑAS Antonio	3・4	○	[65名]、読解・口頭表現
	550559	HSP310-54m00	(重) 総合スペイン語E-2	1	秋	DOÑAS Antonio	3・4	○	[65名]、読解・口頭表現
	550560	HSP311-54m00	(重) 総合スペイン語F-1	1	春	松原 典子	3・4		読解
	550561	HSP312-54m00	(重) 総合スペイン語F-2	1	秋	谷 洋之	3・4		読解
	550562	HSP313-54m00	(重) 総合スペイン語G-1	1	2Q	MARTINEZ SIREs Paula	3・4	○	[50名]、聴解・口頭表現
	550563	HSP314-54m00	(重) 総合スペイン語G-2	1	3Q	西村 君代	3・4		[50名]、4年次生優先・聴解・口頭表現
550564	HSP315-54m00	(重) 総合スペイン語H-1	1	春	*LÓPEZ Nuria	3・4	○	[35名]、口頭表現	
550565	HSP316-54m00	(重) 総合スペイン語H-2	1	秋	*LÓPEZ Nuria	3・4	○	[35名]、口頭表現	
550566	HSP317-54m00	(重) 総合スペイン語I-1	1	春	*KREJCIOVA Jolana	3・4	○	[35名]、口頭表現	
550567	HSP318-54m00	(重) 総合スペイン語I-2	1	秋	*KREJCIOVA Jolana	3・4	○	[35名]、口頭表現	

注1 イスパニア語学科生のみ履修可

学科科目〔その他〕

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
目 選 択 科 目	目 教 職 科 目	教職科目								
		554121	TCF301-54m00	(隔)	イスパニア語科教育法A	2	春	*大森 洋子	2・3	注1、2
		554122	TCF302-54m00	(隔)	イスパニア語科教育法B	2	秋	*大森 洋子	2・3	注1、2

注1：言語研究コースとのクロスリスティング科目
注2：教職科目として履修しない場合は4年次生も履修可

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選 択 科 目	N99218	SAC210-54m00	海外短期研修 (教皇立ハベリアナ大 学)	2	春	イスパニア語学科教員	2~4	○	注1、3、4、5、6、7
	N99225	SAC214-54m00	海外短期研修 (デウスト大学)	2	秋	イスパニア語学科教員	1~4	○	注2、3、4、5、6、7

注1：本研修は、全学部2～4年次生が履修できるが、希望者数が募集定員を上回った場合はイスパニア語学科生が優先される。
注2：本研修は、全学部1～4年次生が履修できるが、希望者数が募集定員を上回った場合はイスパニア語学科生が優先される。
注3：付与される単位は、イスパニア語学科については、第一主専攻選択科目「総合イスパニア語」または「学科科目：その他」として、それ以外の学生については、所属学科長に使い、「全学共通科目（選択科目）」もしくは「学科科目：その他」に充当する。
注4：イスパニア語学科生以外は、出願時に次の①②のいずれかを提出すること。
①言語教育研究センター開講イスパニア語科目の中級レベル履修済みと証明する成績表
②DELE・A2以上のイスパニア語能力を証明する書類のコピーまたは本学専任教員の推薦状
注5：本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを修了し、上記研修に参加して所定の成果を修めたものは、上記科目の単位が付与される。
なお、上記科目は、履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。
注6：短期研修に係る参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。
注7：評価はP（合格）・X（不合格）を使用する。